東北大学挑創カレッジ

東北大学グローバルリーダー育成プログラム
（TGLプログラム）

東北大学の特長である柔軟で強固な「専門基礎力」に加え、国際化する社会において、さまざまな分野でグローバルに活躍するために必須となる「グローバル人材としての能力」（語学力・コミュニケーション力、国際教養力、行動力）をバランスよく身につけることを目指した学部学生対象のポイント制プログラムです。
TGLプログラムでグローバルリーダーの認定を目指す場合は、必ず一度は海外研鑽の経験が必要です。本ガイドブック内に掲載されている短期海外研修（SAP／FL）をはじめとした海外留学プログラムの多くが、TGLポイントの対象となっています。海外留学プログラムに参加して、グローバルリーダーを目指しましょう。

詳しくは

TGLプログラムパンフレット

及びグローバルラーニングセンターHPを
参照してください。

TGLプログラムとは:
https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/global/about/

東北大学グローバルラーニングセンター
（教育・学生支援部留学生課）

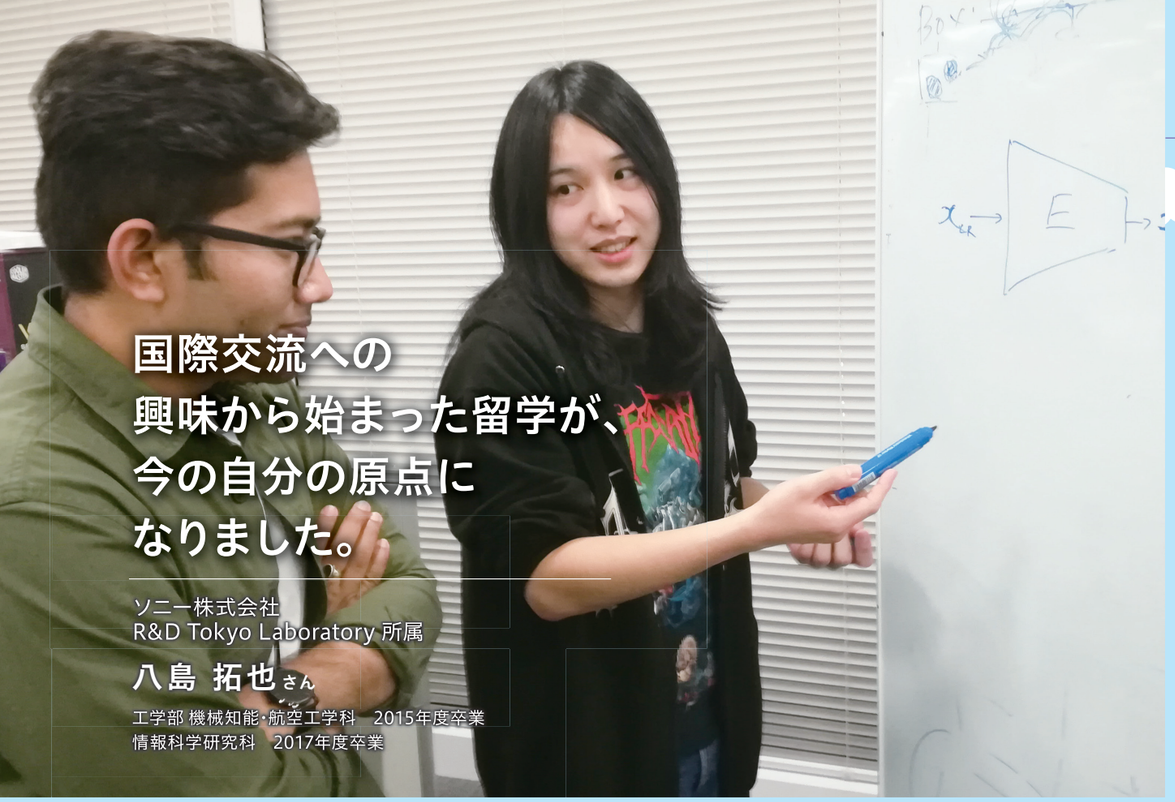
〒980-8576　宮城県仙台市青葉区川内41
☎022-795-7820　✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp

www.insc.tohoku.ac.jp

東北大学生のための
国際交流ガイドブック

Tohoku University Study Abroad Guidebook 2020

TOHOKU UNIVERSITY



国際交流への興味から始まった留学が、今の自分の原点になりました。

ソニー株式会社
R&D Tokyo Laboratory 所属
八島 拓也さん
工学部 機械知能・航空工学科　2015年度卒業
情報科学研究科　2017年度卒業

最初にあったのは国際交流への興味

国際交流に興味があったため、入学後すぐに国際交流活動団体「@home」(▶P.36)に参加しました。そこでさまざまな国の留学生と知り合い、自分の世界が広がっていく楽しさを知りました。学部3年次に研究室配属が決まり、コンピュータビジョンと呼ばれる分野の研究をすることになったことも留学の動機の1つです。コンピュータサイエンスの本場であるアメリカに身を置きつつ、一年間しっかりと勉強してみたいと思い、交換留学へのチャレンジを決めました。

海外経験ゼロ、苦労と発見の連続

アメリカに着いた瞬間の興奮は忘れられません。しかし、現地での生活に慣れるまで時間を要したのも事実です。スピードが速く課題も多い大学の講義についていくのは大変で、現地学生とのプログラミングスキルの差を感じることもしばしばありました。苦労も多かったですが、ここで得たスキルが帰国後役に立ちましたし、現地で出会った人々との思い出、各地を訪れ自身で目にしたアメリカのさまざまな姿等、留学を通じて得たものはとても多かったです。

留学中の苦労が生んだ研究成果

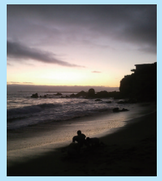
帰国後、本格的に研究が始まりました。当時はディープラーニングの有用性が示され始めた頃で、自分もその分野の研究を進めていくことになりましたが、その際には留学中に鍛えられたプログラミングスキルが本当に役に立ちました。国際学会に向けて論文を書く機会もありましたが、この時も留学中に培った英語力が役に立ったと思います。留学がなければ研究面での成果はなかったのではないかと思います。

今なお活きている留学経験

現在はソニーで引き続きディープラーニングについての研究開発に携わる仕事をしています。留学経験が買われたのか、海外との関わりが深いチームに加わることになり、アメリカやインド、ヨーロッパ等の関係部署と共同でプロジェクトを進めています。海外メンバーを日本に迎えた際には彼らとの技術的なディスカッションも行います。さまざまな国のメンバーと仕事をしていく上で、アメリカでの留学経験が活かされているのは言うまでもありません。

留学をしてみたいと思っている人へ

留学というと華やかな印象があるかもしれませんが、実際には苦労も多いです。ただ、留学をすることでしか得られないものは確実にありますし、異国の地で外国人として暮らすことで、人として成長できるのも確かです。東北大学にはさまざまな留学プログラムがあり、サポートも充実しています。海外の文化に興味があり、自分の世界を広げてみたいと思ったら、それも十分な留学の動機ですし、その気持ちを大事にして、留学にチャレンジしてみてほしいです。



プログラム　大学間交換留学プログラム
派 遣 国　アメリカ
派遣大学　カリフォルニア大学アーヴァイン校
留学時期　2014年9月～2015年6月

社会で活躍する卒業生

短期留学でアジアに関心を持つように

海外に興味はあったものの長期留学には不安もあったため、まずはベトナムへの短期海外研修(SAP)に参加しました。ベトナムを選んだ理由は、経済成長が著しい東南アジアの国を実際に見たい、という思いがあったためです。そして、現地でベトナムの経済や歴史、ASEANにおけるベトナムの位置づけ等を学んだことで、アジアの経済や歴史について学びたいという思いが強くなりました。そこで、SAP終了後、アジア経済や歴史を学ぶことができる国立台湾大学への交換留学に応募しました。

交換留学を通じて大学院進学を決意

国立台湾大学では、地域経済統合や東南アジア史の授業を履修しました。特に地域経済統合の授業は、ASEAN内の経済格差等足元のアジア経済動向について理解できただけでなく、アジアや世界における日本の立ち位置や役割を改めて考えさせられる機会となりました。

台湾で授業を受けるにつれ、日本を含むアジアの経済や、経済活動を支える企業活動について学びたいという思いが強くなったことから、大学院進学を決意しました。台湾でできた友人から、大学院で興味あることを勉強するのはいいことだ、海外では文系でも修士は当たり前だよ、というアドバイスを受けたことも進学の後押しとなりました。

留学と大学院での学びが仕事につながった

交換留学後に進学した大学院で経済学・経営学を学ぶ中で、日本の国際競争力の低下に危機感を感じたことから、日本経済の再活性化に貢献できる仕事をしたいと思い、日本貿易振興機構に就職を決めました。現在は日本企業の海外展開に関する調査や、世界の貿易・投資等に関するレポートの作成を行っています。交換留学で学んだ地域経済統合の知識や、大学院で学んだ調査の作法や情報収集のコツは仕事でも役立っています。

大学時代に自分が興味を持ったテーマを交換留学や大学院で学び続けたからこそ、今の仕事や自分がいると感じています。海外に少しでも関心があるという方は、短期海外研修や交換留学等、自分に合ったプログラムを探して是非留学に挑戦してみてください。

プログラム　スタディアブロードプログラム(SAP)
派 遣 国　ベトナム　派遣大学　貿易大学
留学時期　2014年9月

プログラム　ショートプログラム
派 遣 国　インドネシア　派遣大学　ガジャマダ大学
留学時期　2015年1月

プログラム　大学間交換留学プログラム
派 遣 国　台湾　派遣大学　国立台湾大学
留学時期　2015年9月～2016年7月

交換留学と大学院での学びが仕事につながっています。

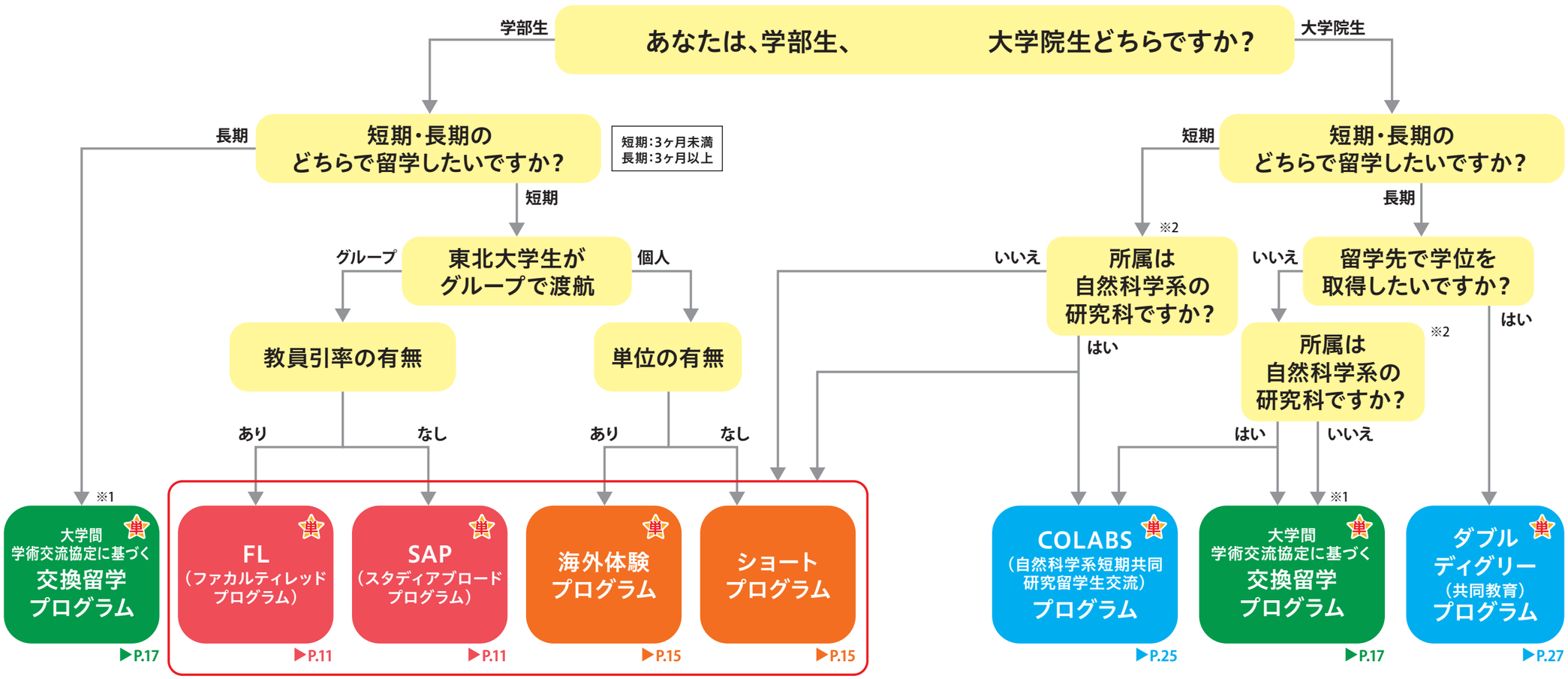
独立行政法人 日本貿易振興機構(ジェトロ)
海外調査部国際経済課 所属
柏瀬 あすかさん
経済学部 経営学科　2016年度卒業
経済学研究科　2017年度卒業

グローバルラーニングセンターで実施している

海外留学プログラムと国内サポート

※1：大学間以外に部局間学術交流協定に基づく交換留学プログラムもあります。
詳細は、自身が所属する学部・研究科の国際交流担当係、又は教務係に確認してください。
※2：自然科学系の研究科とは、理学、医学系、歯学、薬学、工学、農学、情報科学、生命科学、環境科学、医工学の研究科を指します。
※ 単 は、単位取得の可能性があるプログラムです。

海外　あなたに合った海外留学を知るためのプログラムマッピング



国内　留学準備やグローバルな視野をはぐくむためのサポート

留学したいけど、どこに相談したらいいの？

ーグローバルラーニングセンターが主催する各種プログラムや海外留学全般に関する質問・相談
▶**留学アドバイジング** P.30

ー実際に留学を経験した学生への質問・相談
▶**GCSカウンセリング** P.31

ー所属学部・研究科における海外留学全般に関する質問・相談
▶**学内の国際交流・留学サポートオフィス** P.38

留学したいけれど英語に自信がない

ーネイティブの英語講師からしっかり英語を学びたい
▶TEA's English P.33

ー東北大学で開催している英語テストの情報が知りたい
▶TOEFL® テスト P.33

ー昼休み等を利用して気軽に英語を学びたい
▶各学部主催の語学サポート P.34

学内で気軽に国際交流を行いたい

▶海外からの学生との交流 P.35

▶東北大学生による国際交流活動団体 P.36

留学中の資金が心配

▶奨学金情報 P.37

Index

P.05 東北大学からの留学
大学間学術交流協定校・機関／海外留学プログラム／留学までのロードマップ
東北大学からの留学

P.11 短期海外研修（SAP/FL）
プログラム概要／実施予定プログラム一覧／体験レポート
短期海外研修（SAP/FL）

P.15 海外体験プログラム／ショートプログラム
プログラム概要／募集プログラム例／体験レポート
海外体験プログラム ショートプログラム

P.17 交換留学プログラム
プログラム概要／主な派遣先大学＆派遣条件等詳細一覧／体験レポート
交換留学プログラム

P.25 大学院生派遣プログラム
プログラム概要／体験レポート
大学院生派遣プログラム

P.29 学部・研究科主催のプログラム
プログラム概要／プログラム一覧
学部・研究科主催のプログラム

P.30 留学のための各種サポート
留学相談・情報収集／語学学習・試験
留学のための各種サポート

P.35 学内で国際交流
海外からの学生との交流／東北大学生による国際交流活動団体
学内で国際交流

P.37 国際交流・留学サポート
奨学金情報／学内のサポートオフィス
国際交流・留学サポート

東北から世界各国に広がる協定校ネットワーク。

東北大学では、数多くの世界トップレベル大学・機関との間に「学生交流協定」を締結し、本学独自のグローバルネットワークを構築しています。グローバルラーニングセンターでは、そのネットワークを活かし、さまざまな海外留学プログラムを展開し、海外で学ぶことができる体制を整えています。

大学間学術交流協定機関

35の国と地域、245大学・機関（2020年1月現在）

欧州地域

フィンランド
アアルト大学
オウル大学
タンペレ大学
トゥルク大学

スウェーデン
ウーメオ大学
スウェーデン王立工科大学
ウプサラ大学
ストックホルム大学
チャルマース工科大学

イギリス
ヨーク大学
シェフィールド大学
イーストアングリア大学

オランダ
グローニンゲン大学
トゥウェンテ大学
デルフト工科大学
ラドバウド大学

イタリア
フィレンツェ大学
トリノ工科大学
ナポリ大学
ミラノ工科大学
ペネツィア・カ・フォスカリ大学
サクロ・クオーレ・カトリック大学

スイス
スイス連邦工科大学ローザンヌ校
ジュネーブ大学
チューリッヒ大学

オーストリア
ウィーン大学
Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs

スペイン
グラナダ大学
バリャドリッド大学
サラマンカ大学
セビリア大学

チェコ
チェコ工科大学プラハ校

ドイツ
アーヘン工科大学
ドルトムント工科大学
ザールラント大学
ダルムシュタット工科大学
ゲッティンゲン大学
ドレスデン工科大学
ベルリン工科大学
ミュンヘン工科大学
カールスルーエ工科大学
カイザースラウテルン工科大学
ハイデルベルク大学
ヨハネスグーテンベルク大学マインツ
パダボーン大学
ケムニッツ工科大学
レーゲンスブルク大学
オルデンブルク大学
ウルム大学

フランス
ソルボンヌ大学
レンヌ第1大学
レンヌ第2大学
グルノーブル・アルプ大学連合
ストラスブール大学
国立応用科学院リヨン校
ボルドー大学
国立中央理工科学校（Ecole Centrale）（5校）
・リール校　・ナント校
・リヨン校　・セントラルスピレック
・マルセイユ校
アルビ鉱山大学
リヨン政治学院
リヨン高等師範学校
リヨン第2大学
コンピエンヌ工科大学
サンテティエンヌ国立高等鉱山学校
ボルドー工科大学
国立東洋言語文化研究大学（INALCO）
パリ第7大学
ロレーヌ大学

ポルトガル
リスボン新大学

中近東地域

トルコ
イスタンブール工科大学
エーゲ大学

イラン
テヘラン大学

NIS地域

ロシア
モスクワ国立大学
ノボシビルスク国立大学
ロシア科学アカデミーシベリア支部
極東連邦大学
ロシア国立高等経済学院（HSE）
サンクトペテルブルク国立総合大学
サンクトペテルブルク電気工科大学

ウクライナ
ウクライナ国立工業大学“キエフ工科大学”

アフリカ地域

モロッコ
ムハンマド5世大学－ラバト

南アフリカ共和国
クワズールー・ナタール大学
ヨハネスブルグ大学

※本ガイドブックでは、一部の国・地域について一般的に使われている呼称と旗を慣習に従い使用しています。

北米地域

カナダ
ウォータールー大学
オタワ大学
クイーンズ大学
ブリティッシュ・コロンビア大学

アメリカ
ペンシルベニア州立大学
カリフォルニア大学（10校）
・バークレー校
・デイビス校
・アーヴァイン校
・ロサンゼルス校
・マーセド校
・リバーサイド校
・サンディエゴ校
・サンフランシスコ校
・サンタバーバラ校
・サンタクルス校
ワシントン大学
パデュー大学
アラスカ大学
コロラド鉱山大学
シラキュース大学
国際教育協会（IIE）
テンプル大学
テキサスA&M大学
ハワイ大学マノア校
ニューヨーク州立大学（2校）
・オールバニー校
・ストーニーブルック校
ノースカロライナ大学シャーロット校
ケースウェスタンリザーブ大学
ミシガン州立大学
メリーランド大学カレッジパーク校
モンタナ大学
デンバー大学
ベイラー大学
ジョージア工科大学
オレゴン大学

中南米地域

ベネズエラ
シモン・ボリバル大学

太平洋地域

オーストラリア
シドニー大学
ニューサウスウェールズ大学
オーストラリア国立大学
メルボルン大学
マッコーリー大学

アジア地域

インド
インド工科大学ボンベイ校
インド科学大学

タイ
アジア工科大学院
スラナリー工科大学
キングモンクット工科大学ラカバン校
チュラロンコーン大学
タマサート大学
チェンマイ大学
キングモンクット工科大学トンブリ校
泰日工業大学

シンガポール
シンガポール国立大学
ナンヤン工科大学

インドネシア
インドネシア大学
ガジャマダ大学
バンドン工科大学
ボゴール農科大学
ブラウィジャヤ大学
セプル・ノーペンバー工科大学

韓国
全北大学校
ソウル大学校
光州科学技術院
釜慶大学校
浦項工科大学校
韓国科学技術院
忠南大学校
慶北大学校
嶺南大学校
東義大学校
朝鮮大学校
高麗大学校
国立昌原大学校
西江大学校
延世大学校
国立公州大学校
中央大学校
慶熙大学校
成均館大学校
国民大学校
韓国科学技術研究院

モンゴル
モンゴル科学技術大学

スリランカ
モラトゥワ大学

ベトナム
ベトナム国立大学ハノイ校
貿易大学
ホーチミン市工科大学
チュイロイ大学

中国
東北大学
中国科学技術大学
清華大学
南京大学
北京大学
吉林大学
浙江大学
復旦大学
武漢理工大学
重慶大学
同済大学
中国海洋大学
北京科技大学
南京航空航天大学
厦門大学
華中科技大学
西安交通大学
華東師範大学
北京航空航天大学
蘭州大学
天津大学
大連理工大学
揚州大学
東南大学
上海交通大学
北京工業大学
北京郵電大学
香港科技大学
上海海洋大学
中国地質大学（武漢）
香港城市大学
東北財経大学
上海大学
西南大学
四川大学
南開大学

台湾
国立台湾大学
国立中正大学
国立成功大学
国立交通大学
国立中興大学
国立清華大学
国立政治大学
東呉大学
国立中央大学
国立台北科技大学

マレーシア
マラヤ大学

部局間交流協定機関 65の国と地域、487機関（2020年1月現在）　※協定機関の詳細はHPをご覧ください。

学術交流協定機関一覧：東北大学HP ▶ 国際交流 ▶ 学術交流協定（協定校）　http://ie.bureau.tohoku.ac.jp/partners

学びの目的や期間等、希望に合わせて選べる多様な海外研修・留学プログラムがあります。

短期海外研修（SAP/FL）

▸P11-14

海外に行くのが初めての方、長期留学をためらっている方、長期留学の前に語学力を強化し、異文化適応能力を身につけておきたい方等、さまざまな要望に応えることができるプログラムです。スタディアブロードプログラム（SAP）では、約3～5週間のプログラム期間内に、語学学習を中心としたさまざまなテーマ学習に参加できます。ファカルティレッドプログラム（FL/教員引率型）では、約2週間のプログラム期間内に、語学を使ったテーマ学習、課題解決型プロジェクト、フィールドワーク等に取り組むことができます。どちらのプログラムも、現地学生や留学生との交流等も盛り込まれています。長期休業（夏・春）を有効に利用した短期間の研修ですので、授業への影響や留年の心配はありません。

派遣地域・大学	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、マレーシア、ベトナム、インドネシア、中国、オーストラリア等の教育機関
期　間	2～5週間（夏・春）
参加対象	全学部・研究科の学生（学部学生優先）

海外体験プログラム／ショートプログラム

▸P15-16

半年や1年間の留学は難しいという方は、海外体験プログラム、ショートプログラムがおすすめです。言語、異文化体験、イノベーション、持続可能な開発、データサイエンス等、協定校が多様なテーマのプログラムを実施しています。協定校主催のため、募集時期はさまざまです。募集期間の短いものが多いので、随時、グローバルラーニングセンターのHPや留学生課で最新情報を確認してください。

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした世界各国の大学等
期　間	1～8週間程度（夏・春）
参加対象	プログラムにより異なる

大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

▸P17-24

短期海外研修等を経験し、より長期間にわたる留学を希望する方や、語学学習だけでなく自身の専門について海外の大学で学びたい方向けの海外留学プログラムです。留学先の大学については、本学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学から自身の留学の目的及び将来のキャリア設計に応じて希望することができます。現地の学生とともに学び、海外で生活をすることで、多様な価値観に触れ、日本にいるだけでは得ることができない貴重な経験を積んでください。

派遣地域・大学	35の国と地域245校（▸P05-06）
期　間	1学期～1年間
参加対象	全学部・研究科の学生

COLABS（自然科学系短期共同研究留学生交流）プログラム

▸P25-26

自然科学系の研究科に所属する大学院生（または進学見込みの学部生）で、海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたい等、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。留学期間は、最短10日間から、最長1年間までです。大学院での研究スケジュールにあわせて時期や期間、留学先を選ぶことができます。

派遣地域・大学	主に大学間協定機関または部局間協定機関
期　間	10日～1年間
参加対象	自然科学系研究科の大学院生 ※進学見込の学部4年生を含む （6年制課程の学部については5年生以上）

自然科学系研究科：理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科

ダブルディグリー（共同教育）プログラム

▸P27-28

ダブルディグリー（共同教育）プログラムは、フランス又はスウェーデンのトップクラスの提携校と本学に在籍し、提携校における修士レベルの学位及び本学の修士号の取得を目指すプログラムです。理工系の分野で、国際的環境のもと、研究者としての力や国際性を伸ばすことが期待できます。

派遣地域・大学	フランス　国立中央理工科学校（Ecole Centrale）5校 国立応用科学院リヨン校（INSA Lyon） スウェーデン　スウェーデン王立工科大学
期　間	1年半程度
参加対象	一部の自然科学系研究科の博士前期課程に進学予定の学生 （派遣先により派遣時期、対象学部・学科が異なる）

学部・研究科主催のプログラム

▸P29

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、
学部・研究科で独自に留学プログラムを実施している場合があります。

東北大学桃創カレッジ TGLプログラム

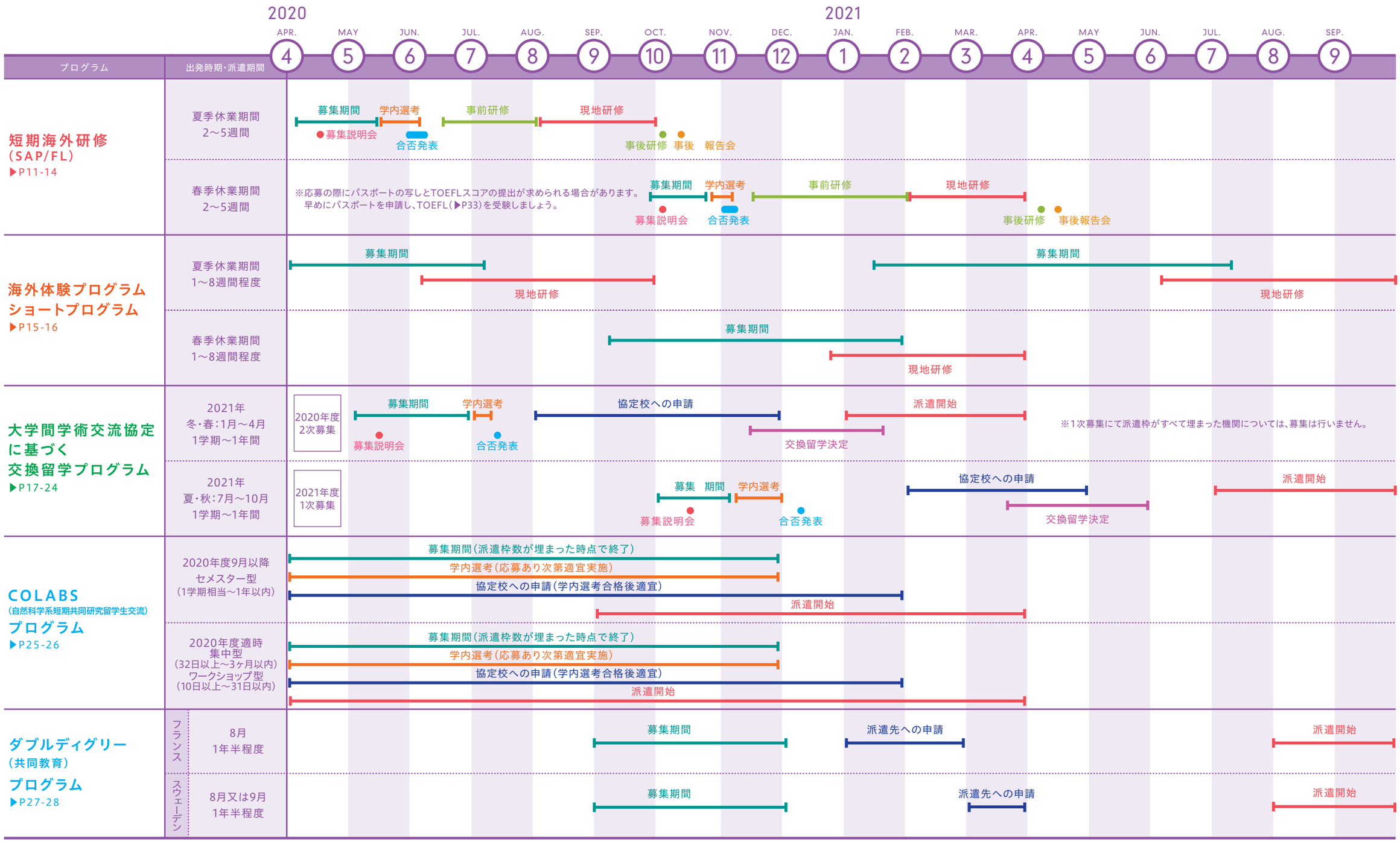
海外留学プログラムに参加してグローバルリーダーを目指そう！

東北大学グローバルリーダー育成プログラム（TGLプログラム）は、将来、国際社会で活躍できる人材を育成する学部学生対象のポイント制のプログラムです。グローバルリーダーに求められる、語学・コミュニケーション力、国際教養力、行動力、海外研鑽の4つのうち、海外留学プログラムに参加することで海外研鑽のポイントが獲得できます。これら4つすべてのポイントを獲得していくことで、グローバルに活躍できる人材として必要な能力をバランスよく身につけていきます。

詳しくは、グローバルラーニングセンターHPをご覧ください☞

留学までのロードマップ

希望のプログラムが見つかったら、さっそく準備を始めましょう。



※各期間の詳細については、各プログラムの募集要項等を確認して下さい。

短期海外研修（SAP/FL）

スタディアブロードプログラム（SAP）とファカルティレッドプログラム（FL/教員引率型）は、長期休業（夏・春）を利用して、語学力を磨き、アカデミックスキルを高めることを目的とした海外研修プログラムです。参加学生は、プログラムのテーマに沿った体験学習や、特色ある語学講座に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに現地学生やコミュニティーメンバーとの交流等、日本では得られない貴重な体験を通じて、語学の運用能力を高めるだけでなく、国際的な視野を育むことが期待できます。

奨学金情報
- 月額6～8万円の奨学金（派遣先により異なる）が支給される可能性あり。
- 学部生に限り、1プログラム当たり平均20万円/名の受講料の一部を、東北大学が負担。

派遣地域・大学 アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、マレーシア、ベトナム、中国、インドネシア、オーストラリア等の教育機関

期 間 2～5週間（夏・春）　**参加対象** 全学部・研究科の学生（学部学生優先）

2020年度スタディアブロードプログラム（SAP）実施予定プログラム一覧

海外初心者向けプログラム

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
カリフォルニアで学ぶ多文化・多民族社会	【アメリカ】カリフォルニア大学リバーサイド校	夏【3週間】	●多文化社会が浸透している地域、カリフォルニア・ロサンゼルス近郊のリバーサイドでの研修 ●アメリカにおける「多文化主義」について幅広く、さまざまな視点から学ぶ ●実践的な英語研修及びテーマに関連する場所へのサイトビジットやアクティビティ ●現地学生との豊富な交流活動やホームステイを通じて異文化理解を深める
ハワイで学び体験する文化と歴史	【アメリカ】ハワイ大学マノア校	夏【3週間】	●基礎的な英語力を身につけるための講義 ●ハワイの文化や歴史を学ぶためのフィールドトリップや現地学生との交流 ●ホームステイを通じた、ハワイ家庭の生活・文化体験及び英語力の向上
カナダで学ぶ英語と文化体験	【カナダ】ウォータールー大学	夏及び春【4週間】	●日常的に必要な英語力を強化するための研修 ●英語イマージョン教育を通じてカナダ文化について学ぶ授業 ●ウォータールー大学の学生やホームステイ家族との交流
マレーシアで学ぶ英語とマレーシアの歴史・社会・文化	【マレーシア】マラヤ大学	夏【3週間】	●日本及びアジア各地から集まる学生とともに学ぶ実践英語研修 ●多民族国家マレーシアの歴史・社会・文化を学ぶ授業 ●マラヤ大学生との学生寮での共同生活をはじめ、プログラム参加現地学生及び留学生との交流

テーマ学習に取り組みたい学生向けプログラム

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
ベトナムで学ぶ文化と国際ビジネス	【ベトナム】貿易大学	夏【3週間】	●ベトナムの社会科学系でトップクラスの大学である貿易大学での研修 ●ベトナムの産業構造や社会問題等について英語で学ぶ ●ベトナムの二大都市ハノイとホーチミンで日系企業訪問や文化体験、世界遺産へのフィールドトリップ
インドネシアで挑戦するインターンシップ	【インドネシア】インドネシア大学	春【4週間】	●インドネシアの社会やビジネスを英語で学ぶ東北大学生のために開発された研修プログラム ●インドネシア大学生と現地日系企業（イオン・インドネシア）での協働インターンシップ ●インドネシアでの生活のための基礎インドネシア語講座

実践的な英語力の向上を目指す学生向けプログラム（交換留学準備）

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
オーストラリアで学ぶ実践英語	【オーストラリア】ニューサウスウェールズ大学	夏及び春【5週間】	●自身のレベルに合ったクラスで、世界各地から集まる学生とともに実践的な英語力を5週間しっかり鍛える ●多様な文化背景を持つ人々の街、シドニーでホームステイ ●現地の学生とのイベントでの交流
カリフォルニアで学ぶ実践英語	【アメリカ】カリフォルニア大学サンディエゴ校	春【4週間】	●カリフォルニア南部、メキシコに隣接する都市・サンディエゴの名門校での研修 ●自身のレベルに合ったクラスで多国籍の学生とともに学ぶ英語研修 ●現地学生（Conversation Leader）との会話を通したコミュニケーションスキルの向上
ニューヨークで学ぶ実践英語	【アメリカ】ニューヨーク州立大学オールバニー校	春【4週間】	●ニューヨーク州都、オールバニーにある総合大学付属語学学校で多国籍の学生とともに英語を学ぶ ●東北大学生のために開発された授業やホームステイ家族との交流を通してアメリカ文化について学ぶ ●日常的に必要な英語力を強化するための研修
ロッキー山脈の麓コロラド州デンバーで学ぶ実践英語	【アメリカ】デンバー大学	春【3週間】	●ロッキー山脈地域最古の名門校で東北大学生のために開発された実践英語研修プログラム ●教室での英語スキルの学習＋現地サイトでの体験学習による英語運用能力（特に話す・書くのアウトプットスキル）の向上を目指す ●デンバー大学のさまざまな学生（日本語、ビジネス、アントレプレナー、テクノロジー専攻の学生）との交流
イギリス・シェフィールドで学ぶ実践英語	【イギリス】シェフィールド大学	春【4週間】	●自身のレベルに合ったクラスで4スキル（読む、聞く、書く、話す）を集中して学ぶ英語研修 ●多国籍の学生とともに取り組む授業内及び課外活動での国際交流 ●ホームステイを通じたイギリス生活・文化体験及び英語力向上
イギリス・ヨークで学ぶ英語と文化	【イギリス】ヨーク大学	春【4週間】	●IELTS受験対策講座と現地でのIELTS受験 ●基礎から実践的なレベルまで高める集中英語研修 ●授業や現地学生とのプロジェクト、ホームステイを通じて将来役立つEmployabilityを伸ばし、イギリスの文化を体験

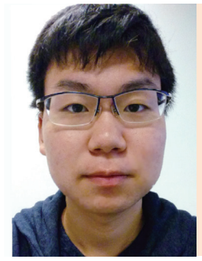
2020年度ファカルティレッドプログラム（FL/教員引率型）実施予定プログラム一覧

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
CHaNGE Summer Program: Canadian Heritage and Nature Group Experience	【カナダ】ケベック大学モントリオール校	夏【2週間】	●カナダのアートや食文化の中心地・モントリオールと、旧市街が世界遺産に登録されている北米唯一の城塞都市・ケベックシティで、フランス系カナダの歴史や文化、2ヶ国語の共通言語環境（英語とフランス語）を体験する ●ケベック大学モントリオール校やウラノス・コンソーシアム、博物館等で、歴史や文化をはじめ、言語、アイデンティティ、多様性、自然環境、気候変動について英語で講義を受ける。 ●2泊3日大自然の中、動物や植物に触れながら現地学生とともにフィールドワークを行う
モンタナで学ぶサステナブルな社会	【アメリカ】モンタナ大学	夏【2週間】	●1000種類以上の動植物が生息する壮大なグレイシャー国立公園やモンタナの大自然の中で、環境と気象について英語で学ぶ ●ホームステイ、ドームステイでアメリカの生活と文化を満喫するとともに、壮大なロッキー山脈でのキャビンステイで、大自然を満喫しながら環境フィールドワークに参加する ●ネイティブアメリカンの歴史や文化を学ぶ ●現地学生とアウトドアライフに親しみ、アメリカ特有の文化活動を理解し交流を深めるとともにコミュニケーション力の向上を図る
#Music! 音楽でつながる海外留学	【アメリカ】ノースカロライナ大学シャーロット校	夏【2週間】	●現地の学生と協働し、学内外で音楽コンサートを企画・実行する中で、コミュニケーション力・行動力を磨く ●洋楽を歌いこなすために必要な美しい発音やイントネーションを習得する ●音楽科の講師陣によるセミナー、ワークショップ、ボイストレーニングを通して、英語力だけでなく音楽に関する知識やスキルを高める ●歌やアイデアを人に伝えるための表現方法や発信力を身につける
スペイン語とスペイン文化理解・体験「Interacción」	【スペイン】マドリード・コンプルテンセ大学	春【2週間】	●スペイン語とスペイン文化について学ぶとともに、関心に沿った課題を設定し、フィールドワークを行う ●学生が自身の学びや現地研修に積極的に向き合い「自分の留学をデザイン」できるプログラム ●現地学生・留学生との交流による相互理解と異文化理解を実践的に深める
課題解決型のフィールドワークを通して「ドイツ」に学ぶ	【ドイツ】パダボーン大学 他	春【2週間】	●「ドイツと移民」をテーマに、それぞれの関心に沿った課題を設定し、セミナー、現地学生との協働プロジェクト、フィールドワークを通した学習を行う ●パダボーンを中心に、ドイツ国内の複数の大学や都市を訪問し、言語・文化交流を通じてドイツに対する理解を深める ●現地の学生と協力して「Culture Night」を企画し、大学関係者や地域の人々に対して日本を紹介する
中国の科学・産業の『今』に迫る	【中国】大連理工大学	春【2週間】	●理工系の先端講義と、バディと協働の挑戦的なプロジェクトワーク。中国科学・産業の『今』に迫る ●企業訪問、文化・歴史施設訪問。日露戦争の激戦区「旅順」訪問。日本の歴史と中国の『今』を考える ●大連理工大学学部学生との1対1のバディ制度。バディとの交流、協働を通して、日中の相互理解を深める

※上記は2020年2月現在の情報であり、変更の可能性があります。詳細は、4月（夏プログラム）と9月（春プログラム）にグローバルラーニングセンターHPに掲載予定です。
※学生1人当たりの自己負担金額（受講料の一部、渡航費、滞在費、海外旅行保険、ビザ取得料等）は、20万円から40万円程度で、プログラムにより異なります。

インドネシアで挑戦するインターンシップ

SAP



経済学部
学部2年（プログラム参加時）
石神　開さん

派遣国 インドネシア
派遣大学 インドネシア大学
参加時期 2019年2月～3月

インドネシアの社会、文化、人々の優しさに触れることができました。

2月末から約1ヶ月間のインドネシアでの体験です。初めの2週間はインドネシア大学にて講義を受けたり、国際的な機関を訪問したりしました。後半はイオン・インドネシアにてインターンシップを行いました。

講義はインドネシア語を学ぶものや、インドネシアの経済、文化、環境について学ぶ内容でした。そのほかインドネシアの文化体験を目的とした活動もあり、楽しむことができました。

インターンシップでは、店舗の近くで暮らしている住民の方々を訪ねてアンケート調査を行い、その結果と分析の概要を社員の方に英語でプレゼンテーションを行いました。東北大学とインドネシア大学の学生2人ずつの計4人でのグループ行動をしながら、インドネシアでの暮らしぶりを見ることができ、非常に興味深いものでした。インドネシア語で話しかけると、皆にこやかに話してくれました。インドネシア語が通じた時は非常にうれしかったです。

これまで、私は英語の授業を受けたり、英語で外国の方と話したりする経験があまりなかったため、応募の時も緊張したことを思い出します。留学に興味はありませんでしたが、このインドネシアでの体験で心変わりし帰国後すぐ長期留学を決めました。今後を大きく変えた、とても有意義な体験でした。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	朝食・登校	授業				昼食	授業				自由時間（観光・夕食・プレゼン準備）						就寝	

カナダで学ぶ英語と文化体験

SAP

工学部
学部2年（プログラム参加時）
三ツ木　鴻佳さん

派遣国 カナダ
派遣大学 ウォータールー大学
参加時期 2019年8月～9月

積極性の大切さを再認識できました。

私は入学当初から漠然と留学したいと考えており、SAPに参加することを決めました。SAPのプログラムには他にもいろいろな種類のものがありましたが、ホームステイで各家庭に滞在する東北大学生が1人という点と、4週間という滞在期間の長さに魅力を感じ、ウォーターループログラムを選びました。

プログラムの内容は、平日は学校へ行き英語の授業を受け、放課後はほぼ毎日学校が開催してくれるイベントに参加し、週末にはナイアガラの滝やトロントへ行く、といったものでした。授業では、さまざまな国籍の方と意見を述べあったり、フィールドワークがあったりと、いろいろな情報を実際に見て、聞いて、考える機会がたくさん設けられており、自分の意見をしっかり持ち、それを発信することの重要性に気づかされました。また、放課後のイベントでは同じプログラムに参加している日本人はもちろん、さまざまな国の方と交流を深め、仲良くなることができました。週末の何もイベントがない日には、自分たちで行きたいところを決め、自由に日程を組んで動けたのもとても楽しかったです。

毎日自分から積極的に行動を起こしたことで、文化の違い等の面で新しく気づくことや驚くことが多くあり、刺激的で有意義な4週間とすることができました。そして、また留学へ行ってみたいと思わせてくれるとても良い経験になりました。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・朝食		登校	授業			昼食	授業			自由時間	学校のイベント参加等			帰宅・自由時間			就寝	

モンタナの大自然の中で環境問題を考えよう

FL

医学部
学部2年（プログラム参加時）
熱海　南帆さん

派遣国 アメリカ
派遣大学 モンタナ大学
参加時期 2019年9月

大自然の中で環境や文化について考えた、充実した14日間でした。

モンタナ州は、アメリカ北西部に位置する自然豊かな州です。私はそこでの活動を通し、地球環境等について学びました。特に印象に残っているのは、グレーシャー国立公園を訪れたことと、フラットヘッド湖の畔で微生物の調査を行ったことです。広大な自然に触れ、その中で活動できたことは、とても貴重な体験だったと思います。

また、大学では、現地の方々と交流する時間がたくさん設けられていました。その方々と英語で会話することを通して、文化の多様性や、日本の座学では身に着けることのできない実用的な英語を学びました。現地学生とともに授業を受けた際は、アメリカと日本、それぞれの学生がお互いの国にどのようなイメージを持っているか等について話し合う機会があり、海外から見た日本という、いつもとは違った視点を知ることができました。他にも、2泊3日のホームステイで家庭の生活を体験する等、盛りだくさんの14日間でした。

この海外研修が私にとって初めての海外渡航でしたが、モンタナ州で出会った方々は皆さんとても親切で、温かく私たちを迎えてくれました。プログラムに参加した学生の多くが、「またモンタナに行きたい」と口にするほど、素晴らしいプログラムでした。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	身支度		朝食	授業・フィールドワーク			昼食	授業・フィールドワーク				夕食・自由時間				シャワー等		就寝	

課題解決型のフィールドワークを通して「ドイツ」に学ぶ

FL

工学部
学部2年（プログラム参加時）
粂田　晴陽さん

派遣国 ドイツ
派遣大学 パダボーン大学 他
参加時期 2019年3月

現地の学生と一つの課題に取り組む中で多くのことを学びました。

私がこのプログラムに参加したきっかけは単純で、SAPやFL等に参加した友人の話を聞いて、自分もこういった海外研修で国際感覚を身に着けたい、自身の成長につなげたいと思ったことでした。しかしこのプログラムでは、初めに考えていたよりはるかに多くの、貴重なものを得ることができました。

FLドイツプログラムでは、現地の学生と一緒に一つの課題に取り組みます。私が参加した年の課題は「ドイツと移民」でした。初めは言語の壁がある中で課題に取り組むことに不安がありましたが、ドイツの学生と何度もディスカッションを重ねる中でより積極的に連携して課題を進められるようになりました。また、移民の方をはじめ現地のさまざまな方にお話を伺うことで、課題だけでなくドイツという国についても理解を深めることができました。特に今回移民問題という複雑な問題を取り扱うことで訪問先をさまざまな面から知ることができたのは、国際感覚を養う上でとても貴重な経験となりました。

また滞在中は、もちろん現地の学生と食事に行ったり、観光したり、交流会を一緒に企画したり、とても楽しく過ごしました。FLプログラムでドイツに滞在した2週間は、課題に取り組んだり現地の人々と交流したり、この紙面上では語りつくせないほど充実したものでした。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・朝食・通学			授業			昼食	授業				課題・準備等		夕食・交流会		復習・自由時間		就寝	

※記載のスケジュールは1週目のもの。2週目はフィールドワーク等が中心となる。

海外体験プログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや大学間学術協定校等が、夏や春の長期休業期間中に実施する約1週間以上の短期プログラムに、東北大学での事前・事後研修を組み合わせたものです。
積極的にこの機会を利用して、海外の学生とのネットワークを広げてください。

奨学金情報 | 成績優秀者に月額6～10万円の奨学金を支給予定（▶P37 JASSO奨学金）

派遣地域・大学 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学　**期 間** 1～8週間程度（夏・春）

募集プログラム 留学生課海外留学係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自確認してください
www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/exploring/program/

参加対象 プログラムにより異なります

単 位 全学教育科目「海外研修（展開1）」1単位、「海外研修（展開2）」又は「海外研修（展開）」2単位
※本学で実施する事前・事後研修への参加必須

2019年度募集海外体験プログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
CuriousU	オランダ	トゥウェンテ大学	2週間	8月	さまざまなコースから選択し、世界各国から集まった学生と英語で学ぶ
2019 Chinese Learning Program in Summer, Taiwan	台湾	国立中央大学	2週間	8月	現地学生とともに、中国語・台湾文化の授業、フィールドトリップに参加
Tongji University Summer Program 2019	中国	同済大学	2週間	8月	学部学生対象。中国語習得や異文化交流、都市開発等について学ぶ
スカンジナヴィア研修2019	フィンランド	オウル大学	2週間	9月	スカンジナヴィアに関する歴史・文化・言語を学ぶ、英語による授業、フィールドトリップ、文化体験
KU International Winter Campus	韓国	高麗大学校	3週間	12～1月	韓国語コース等の各種コース（使用言語：英語）から選択して学ぶ。文化体験もあり
Spring+ Chinese Language & Culture Program	台湾	国立台湾大学	3週間	3月	中国語と台湾文化のプログラム
TNI Cross Culture Program 2020	タイ	泰日工業大学	2週間	3月	タイ文化、比較文化について英語で学ぶ

※2020年度募集のプログラムは、上記記載のものから変更の可能性があります。また、プログラムにより募集時期が異なりますので注意してください。

ショートプログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや、大学間学術交流協定校等が実施する1～8週間程度の短期プログラムのうち、「海外体験プログラム」に含まれないものです。

派遣地域・大学 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学　**期 間** 1～8週間程度（夏・春）

募集プログラム 留学生課海外留学係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自確認してください
www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/short/program/

参加対象 プログラムにより異なります

2019年度募集ショートプログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
Summer School "Data Science"	ドイツ	ゲッティンゲン大学	2週間	8月	データサイエンスの新しい手法・技術について英語で学ぶ
AEARU-SNU Winter Ski Camp	韓国	ソウル大学	1週間	12～1月	AEARUメンバー校の学生とともに平昌でスキー研修

※2020年度募集のプログラムは、上記記載のものから変更の可能性があります。また、プログラムにより募集時期が異なりますので注意してください。

Scandinavian Studies Summer School 2019

法学部
学部1年（プログラム参加時）
中野　佑香さん

派遣国 フィンランド
派遣大学 オウル大学
参加時期 2019年9月

自然、人、物、食べ物、文化等すべてが最高の場所です。

私は9月にフィンランドのオウル大学にて約2週間のサマープログラムに参加してきました。海外体験プログラムはSAPやFLと違い、海外の大学や政府・企業が全国規模でさまざまなプログラムを主催していることが多いので、このプログラムに参加することを決めました。

現地での授業は、簡単なフィンランド語や文学等を読んだり、フィンランドと周辺諸国の歴史や概要について学んだりしました。特に、フィンランドと日本の違いについて話し合い、プレゼンテーションする授業では、日本人学生と現地学生が各グループに分かれ、活発に活動していました。今回のプログラムでは、座学だけでなく、国立公園に行くフィールドトリップやフィンランドのシナモンロールである、プーラの調理体験、また、フィンランド式サウナ体験も経験することができました。休日には、チューターのお宅に伺ったり、カフェ巡りや近くの都市に遊びに行ったりしました。

フィンランドの大自然や優しい人々、おいしい食べ物等に触れていく中でフィンランドという国に対する関心や愛情が強くなり、将来はフィンランドに関わる仕事をしたいと考えるようになりました。今回のプログラムに参加できたことを心からうれしく思います。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・準備	登校	授業			昼食	授業				予習・復習		買い物	夕食	自由時間		就寝		

Chinese learning program in Taiwan

経済学部
学部2年（プログラム参加時）
工藤　温真さん

派遣国 台湾
派遣大学 国立中央大学
参加時期 2019年8月

日台の絆を感じました。

夏休みを利用して、台湾の国立中央大学で2週間、中国語を学ぶプログラムに参加しました。プログラムでは、平日は5時間、ネイティブの教員指導のもと中国語を勉強しました。授業はレベルによってクラス分けが行われ、私のクラスではほとんど中国語だけで授業が進められました。授業ではレクリエーションや台湾の伝統的な京劇を体験する機会があり、日本の大学の講義では学べない、生きた台湾の文化を体験することができました。

週末は国立中央大学主催の文化体験ツアーに参加し、現地の自然や歴史に触れました。実際に台湾の方々と意見交換する機会があり、「日本は台湾のインフラを整備してくれた」「日本のアニメが好き」等の友好的な意見を聞くことができました。現地の方々との交流を通して、日本と台湾のつながりを感じました。仙台には台湾から留学生・旅行者がたくさん来ています。今後は台湾についての理解を深めながら、彼らにも日本と台湾の歴史的、文化的つながりを伝えたいです。

「海外体験プログラム」の特徴は、派遣先の多さと、現地で実施される研修内容の多様性です。私は「中国語を学びたい」又、「歴史的に日本とのつながりが深い」という点から台湾のプログラムに応募しました。皆さんも、きっと自分の学びたい内容のプログラムが見つかるはずですので、是非探してみてください！

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	朝食・通学	授業			昼休み		授業			自由時間（現地学生との夜市散策等）						就寝		

大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

東北大学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学へ、1学期又は1年間留学するプログラムです。本学の学部学生及び大学院生を対象としています。東北大学生としての学生生活の一部を、海外の大学で過ごし、現地の学生とともに専門教育を学びます。それだけでなく、課外活動等を通じて日本にいるだけでは得られないさまざまな経験を積むことができるプログラムです。

Merit 01 単位互換の可能性

留学期間も休学する必要はなく、東北大学の在籍期間としてみなされます。また、留学先の大学で取得した単位を東北大学の単位として認定することも可能※1です。そのため、1学期又は1年間にわたって留学した場合でも、留年せずに卒業できる可能性※2があります。

Merit 02 授業料免除

多くの大学との協定において、留学先の大学は交換留学生から授業料を徴収しないことを定めています。ただし、留学期間中も東北大学に授業料を納める必要があります。また、一部の大学では授業料を徴収されます。

※1 履修予定の授業の単位互換認定については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。
※2 標準修業年限内での卒業を目指す場合の留意事項については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

学内の募集時期と応募条件（予定）

募集開始時期 5月と10月 ※ただし、留学先への申請締切は異なります。

語学要件 学内応募の時点で、東北大学が定める要件に加え、留学希望大学等が要件を定めている場合は、その双方を満たす必要があります。なお、東北大学が定める要件は以下の通りです。
・英語で授業を受ける場合：指定期間内にTOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上を取得していること
・英語以外の言語で授業を受ける場合：指定期間内に受験した語学検定試験等により、「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」に照らし、A2相当以上を取得していること。
※詳細は必ず募集要項等を確認してください。

派遣地域 大学・機関 35の国と地域、245大学・機関 ※学生交流協定締結機関のみ（▶P05-06）

期間 1学期～1年間　**参加対象** 全学部・研究科の学生

奨学金情報 各種奨学金の応募が可能（▶P37）

［申請から渡航までの流れ］

※時期は P09-10 参照

学内応募 → 1次募集：10月上旬～11月上旬 / 2次募集：5月上旬～6月下旬
学内選考 → 1次：書類選考 / 2次：面接選考
留学内定
オリエンテーション → 参加必須
留学先への申請 → 受入許可を取得
渡航準備 → 査証取得、海外旅行保険加入、所属部局での手続き（学籍異動等）等
留学開始（渡航）

※ISTUで「大学間交流協定に基づく派遣支援留学者の帰国者アンケート科目」を受講申請すると、過去に交換留学を経験した本学学生の帰国後アンケートが閲覧できます。

主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧

〈北米〉

カナダ オタワ大学 University of Ottawa
指導言語：英語・フランス語　学年暦：①9月～12月 ②1月～4月
語学要件：英語:TOEFL iBT86(Writing 22以上), IELTS6.5(Writing 6.5以上) ※Faculty of Law, Common Lawは要確認
フランス語:DALF C1又はC2,DELF&TEF&TCFはB2

カナダ クイーンズ大学 Queen's University
指導言語：英語　学年暦：①9月～12月 ②1月～4月 ③5月～8月
語学要件：TOEFL iBT88(Listening20, Writing24, Speaking22, Reading22),IELTS6.5(全6.0以上)

カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学 The University of British Columbia
指導言語：英語　学年暦：①9月～12月 ②1月～4月
語学要件：学部:TOEFL iBT90 (Listening22, Writting21, Speaking21, Reading22以上), IELTS 6.5(全6.0以上),TOEFL ITP不可　大学院:要確認

アメリカ カリフォルニア大学 University of California
・バークレー校 ・デイビス校 ・アーヴァイン校
・ロサンゼルス校 ・リバーサイド校 ・サンディエゴ校
・サンタバーバラ校 ・サンタクルス校 ・マーセド校
指導言語：英語
学年暦：バークレー校、マーセド校：①8月～12月 ②1月～5月
その他：①9月～12月 ②1月～3月 ③4月～6月
語学要件：全キャンパス共通TOEFL ITP550
その他の語学要件はキャンパスごとに異なるため要確認
※学部生のみ対象（大学院生は不可）

アメリカ ニューヨーク州立大学 State University of New York
・オールバニー校 ・ストーニーブルック校
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：オールバニー校:TOEFL ITP550, TOEFL iBT70 (大学院:79), IELTS6.0
ストーニーブルック校:TOEFL iBT80, IELTS6.5
成績条件：オールバニー校:GPA2.5以上

アメリカ オレゴン大学 University of Oregon
指導言語：英語　学年暦：①9月～12月 ②1月～3月 ③6月～9月
語学要件：学部:TOEFL ITP 500(学内要件), TOEFL iBT61, IELTS6.0
大学院:TOEFL iBT88, IELTS7.0 ※TOEFL ITP要確認

アメリカ パデュー大学 Purdue University
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：TOEFL iBT80 (各20以上),IELTS6.5 (全6.0以上)　成績条件：GPA3.0以上

アメリカ ベイラー大学 Baylor University
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：TOEFL ITP 540, TOEFL iBT 76, IELTS6.0　成績条件：GPA3.0以上

アメリカ ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Manoa
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：学部:TOEFL ITP520, TOEFL iBT68, IELTS6.0　大学院:要確認
成績条件：学部:GPA2.5以上 大学院:3.0以上

アメリカ ワシントン大学 The University of Washington
指導言語：英語　学年暦：①9月～12月 ②1月～3月 ③3月～6月
語学要件：TOEFL iBT83(大学院:92), IELTS7.0　成績条件：GPA3.0以上

アメリカ ノースカロライナ大学シャーロット校 University of North Carolina at Charlotte
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：TOEFL ITP523, TOEFL iBT70, IELTS6.0

アメリカ メリーランド大学カレッジパーク校 University of Maryland, College Park
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：TOEFL iBT90(各22以上),IELTS6.5(各6.5以上)　成績条件：GPA3.0以上

アメリカ モンタナ大学 University of Montana
指導言語：英語　学年暦：①8月～12月 ②1月～5月
語学要件：学部:TOEFL iBT70, IELTS6.0
大学院:TOEFL iBT92,IELTS7.0

※各大学の指導言語、学年暦、語学要件、成績条件、申請締切、派遣可能人数等については、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部／大学院ごとに交換留学の可否や、指導言語、語学要件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のHP等で確認してください。
※東北大学では、語学要件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内要件を定めています。学内要件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は5月頃に行う予定です。
※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はHP等で確認してください。

アメリカ
デンバー大学
University of Denver

指導言語 英語　学年暦 ①9月～11月 ②1月～3月 ③3月～6月
語学要件 学部:TOEFL iBT80(各20以上), IELTS6.5(各6.0以上)
大学院:要確認

アメリカ他
GE3
Global Engineering Education Exchange

アメリカを中心としたGE3加盟校71校から派遣先を自身で選択し情報を収集する。
派遣大学例: ニューヨーク大学、ミシガン大学、ジョージア工科大学 等

〈北欧〉

フィンランド
アアルト大学
Aalto University

指導言語 英語・(フィンランド語)　学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、CEFR B2相当以上推奨

フィンランド
オウル大学
University of Oulu

指導言語 英語・(フィンランド語)　学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、CEFR B2相当以上推奨

フィンランド
タンペレ大学
Tampere University

指導言語 英語・(フィンランド語)　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 要確認

フィンランド
トゥルク大学
University of Turku

指導言語 英語・(フィンランド語)　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、CEFR B2相当以上推奨

スウェーデン
ウーメオ大学
Umeå University

指導言語 英語・(スウェーデン語)　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

スウェーデン
スウェーデン王立工科大学
KTH Royal Institute of Technology

指導言語 英語・(スウェーデン語)　学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

スウェーデン
ウプサラ大学
Uppsala University

指導言語 英語・(スウェーデン語)　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、CEFR B2相当以上推奨

スウェーデン
ストックホルム大学
Stockholm University

指導言語 英語・(スウェーデン語)　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 TOEFL iBT79, IELTS6.0(各5.5)以上

スウェーデン
チャルマース工科大学
Chalmers University of Technology

指導言語 英語　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

〈欧州〉

イギリス
ヨーク大学
The University of York

指導言語 英語　学年暦 ①9月～11月 ②1月～3月 ③4月～6月
語学要件 学部ごとに異なるため要確認　成績条件 GPA3.0以上

イギリス
シェフィールド大学
The University of Sheffield

指導言語 英語　学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月
語学要件 学部ごとに異なるため要確認　成績条件 GPA3.0以上

オランダ
グローニンゲン大学
University of Groningen

指導言語 英語・(オランダ語)　学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
語学要件 TOEFL iBT90(各セクション21以上), IELTS6.5(各セクション6.0以上)
※ただし、学部ごとに要件が課されている場合があるため要確認

ドイツ
アーヘン工科大学
University of Technology Aachen

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
語学要件 ドイツ語: CEFR B1相当以上
英語: TOEFL iBT60, IELTS5.0, CEFR B1相当以上

ドイツ
ドルトムント工科大学
TU Dortmund University

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
語学要件 要確認

※各大学の指導言語、学年暦、語学要件、成績条件、申請締切、派遣可能人数等については、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部／大学院ごとに交換留学の可否や、指導言語、語学要件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のHP等で確認してください。
※東北大学では、語学要件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内要件を定めています。学内要件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は5月頃に行う予定です。
※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はHP等で確認してください。

ドイツ
ゲッティンゲン大学
University of Göttingen

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～9月
語学要件 ドイツ語:CEFR B2相当以上
英語:CEFR B2相当以上(例: TOEFL iBT79－93, IELTS6.5)

ドイツ
ドレスデン工科大学
Dresden University of Technology

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
語学要件 ドイツ語・英語:CEFR B1相当以上

ドイツ
ベルリン工科大学
Berlin University of Technology

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
語学要件 ドイツ語:CEFR B2相当以上
英語: CEFR B2相当以上 (TOEFL iBT87, IELTS5.0)

ドイツ
ミュンヘン工科大学
Technical University of Munich

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
語学要件 ドイツ語・英語:CEFR B1相当以上

ドイツ
ハイデルベルク大学
University of Heidelberg

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
語学要件 ドイツ語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

ドイツ
パダボーン大学
University of Paderborn

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
語学要件 ドイツ語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

ドイツ
ケムニッツ工科大学
Chemnitz University of Technology

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
語学要件 ドイツ語:CEFR B1相当以上
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

フランス
ロレーヌ大学
Université de Lorraine

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 要確認

フランス
パリ第7大学
Université Paris Diderot

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 フランス語:CEFR B2相当以上(DELF B2, DALF C1/C2の証明書必須)
英語:TOEFL iBT90, IELTS5.5

フランス
レンヌ第1大学
Université Rennes 1

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月
語学要件 フランス語:CEFR B2相当以上(DEFL, DALF等の証明書が必要)
英語:要確認　成績条件 学部により異なる

フランス
レンヌ第2大学
Université Rennes 2

指導言語 フランス語　学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月
語学要件 原則、CEFR B1相当以上のフランス語能力
※ただし、それを有さない場合もCEFR A2相当以上(学内要件)で応募可

フランス
グルノーブル・アルプ大学連合
Communauté Université Grenoble Alpes

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月
語学要件 フランス語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、指導言語に応じてCEFR B2相当以上が強く推奨される

フランス
ストラスブール大学
Université de Strasbourg

指導言語 フランス語・(英語)　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 フランス語:CEFR B1相当以上 (DELF-DALF, TCF, TEF degree)※ただし、B2相当以上を強く推奨
英語:要確認

フランス
国立応用科学院リヨン校
Institut National des Sciences Appliquées de Lyon

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 フランス語:CEFR A2相当以上(学内要件)※フランス語で学ぶ場合CEFR B1相当以上を強く推奨
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

フランス
国立中央理工科学校リヨン校
Ecole Centrale de Lyon

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 要確認

フランス
リヨン高等師範学校
Ecole Normale Supérieure

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②1月～5月
語学要件 文系:CEFR C1相当以上のフランス語能力(仏検1級程度)
理系:CEFR B2相当以上のフランス語能力(仏検準1級程度)及び十分な英語能力

フランス
リヨン第2大学
Université Lumière Lyon 2

指導言語 フランス語　学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
語学要件 フランス語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、CEFR B1相当以上を強く推奨

フランス
サンテティエンヌ国立高等鉱山大学
Ecole National Superieure des Mines de Saint-Etienne

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～2月 ②3月～9月
語学要件 要確認

フランス
国立東洋言語文化研究大学(INALCO)
Institut National des Langues et Civilisations Orientales

指導言語 フランス語　学年暦 ①9月～1月 ②1月～5月
語学要件 CEFR B1相当以上のフランス語能力(DELFの証明書が必要)※ただし、日本研究分野の知識を有し、日本学科への派遣を希望する者は、CEFR A2相当以上(学内要件)で応募可

スペイン
グラナダ大学
Universidad de Granada

指導言語 スペイン語・(英語)　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 CEFR A2相当以上のスペイン語能力(学内要件)
※ただし、CEFR B1レベルのスペイン語能力を推奨。

イタリア
フィレンツェ大学
Università degli Studi di Firenze

指導言語 イタリア語・英語　学年暦 ①9月～2月 ②3月～7月
語学要件 イタリア語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

イタリア
ミラノ工科大学
Politecnico de Milano

指導言語 イタリア語・英語　学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
語学要件 要確認

オーストリア
ウィーン大学
University of Vienna

指導言語 ドイツ語・英語　学年暦 ①10月～1月 ②3月～6月
語学要件 ドイツ語:要確認
英語:TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0

スイス
ジュネーブ大学
Université de Genève

指導言語 フランス語・英語　学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月
語学要件 フランス語・英語:CEFR B2相当以上

チェコ
チェコ工科大学プラハ校
Czech Technical University in Prague

指導言語 英語　学年暦 ①10月～2月 ②2月～6月
語学要件 CEFR B2相当以上の英語能力

ロシア
ノボシビルスク国立大学
Novosibirsk State University

指導言語 ロシア語・英語　学年暦 ①10月～1月 ②2月～6月
語学要件 要確認

〈アジア・オセアニア〉

タイ
アジア工科大学院
Asian Institute of Technology

指導言語 英語・(タイ語)　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 要確認

タイ
チュラロンコーン大学
Chulalongkorn University

指導言語 英語・(タイ語)　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT79, IELTS6.0　成績条件 GPA2.75以上(マスター:3.0以上)

タイ
タマサート大学
Thammasat University

指導言語 英語・(タイ語)　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 要確認　成績条件 学部・プログラムにより異なる

シンガポール
シンガポール国立大学
National University of Singapore

指導言語 英語・(中国語)　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、Faculty of LawのみTOEFL ITP600, TOEFL iBT100, IELTS6.5　成績条件 平均B以上、専攻科目でDがないこと

シンガポール
ナンヤン工科大学
Nanyang Technological University

指導言語 英語　学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
語学要件 TOEFL iBT90以上, IELTS Writing 6.0以上　成績条件 平均B以上

インドネシア
インドネシア大学
University of Indonesia

指導言語 英語・(インドネシア語)　学年暦 ①8月～12月 ②2月～6月
語学要件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0　成績条件 GPA3.0以上

インドネシア
ガジャマダ大学
Gadjah Mada University

指導言語 英語・(インドネシア語)　学年暦 ①8月～1月 ②2月～7月
語学要件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT70, IELTS5.5　成績条件 GPA3.0以上

※各大学の指導言語、学年暦、語学要件、成績条件、申請締切、派遣可能人数等については、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部／大学院ごとに交換留学の可否や、指導言語、語学要件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のHP等で確認してください。
※東北大学では、語学要件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内要件を定めています。学内要件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は5月頃に行う予定です。
※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はHP等で確認してください。

インドネシア
ボゴール農科大学
Bogor Agricultural University

指導言語 英語・(インドネシア語)　学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
語学要件 要確認 (留学後インドネシア語のコースの履修が必要)

マレーシア
マラヤ大学
University of Malaya

指導言語 英語・(マレーシア語)　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、Faculty of Business & AccountancyとFaculty of LawのコースのみTOEFL ITP550, IELTS 6.0が必要　成績条件 GPA3.0/4.0以上

韓国
ソウル大学校
Seoul National University

指導言語 英語・(韓国語)　学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
語学要件 英語:TOEFL ITP570, TOEFL iBT88, IELTS6.0以上
韓国語:KLAT Level5, TOPIC Level5以上推奨　成績条件 学部:GPA2.5/4.0以上 大学院:GPA3.0/4.0以上

韓国
高麗大学校
Korea University

指導言語 英語・(韓国語)　学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
語学要件 韓国語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)　成績条件 GPA2.5/4.0以上

ベトナム
貿易大学
Foreign Trade University

指導言語 英語・(ベトナム語)　学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
語学要件 TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、TOEFL ITP605, TOEFL iBT65, IELTS5.5以上を強く奨励　成績条件 GPA2.8/4.0以上

中国
清華大学
Tsinghua University

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 中国語:HSK旧6級、又はHSK新5級以上(各60以上)
英語:TOEFL ITP500(学内要件)

中国
北京大学
Peking University

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 中国語:HSK新6級以上(各70以上)
英語:TOEFL ITP543, TOEFL iBT94, IELTS6.0以上

中国
復旦大学
Fudan University

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
語学要件 中国語: HSK6(スコア200以上)
英語:TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0(各6.0以上)　成績条件 GPA3.0以上

中国
上海交通大学
Shanghai Jiao Tong University

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 ③6月～7月
語学要件 中国語: HSK5以上
英語:TOEFL iBT90, IELTS6.0　成績条件 GPA3.0/4.0以上

中国
香港科技大学
The Hong Kong University of Science and Technology

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月
語学要件 中国語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)
※ただし、TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0以上を推奨　成績条件 GPA2.7以上

台湾
国立台湾大学
National Taiwan University

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 中国語:CEFR A2相当以上(学内要件)
英語:TOEFL iBT61(ITP500)又はIELTS5.5以上(学内要件)

台湾
国立政治大学
National Chengchi University

指導言語 中国語・英語　学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
語学要件 中国語:TOCFL Superior, CEFR B2, HSK4級相当以上を推奨
英語:TOEFL iBT79, IELTS 6.0　成績条件 GPA2.5以上

オーストラリア
シドニー大学
The University of Sydney

指導言語 英語　学年暦 ①8月～11月 ②2月～6月
語学要件 TOEFL iBT85 (Writing 19以上, Listening, Speaking, Reading17以上), IELTS6.5 (各6.0以上)　成績条件 GPA3.0以上

オーストラリア
ニューサウスウエールズ大学
The University of New South Wales

指導言語 英語　学年暦 ①9月～12月 ②2月～5月
語学要件 TOEFL iBT90 ,IELTS 6.5 ※ただし、Law coursework programsはTOEFL iBT94, IELTS7.0以上　成績条件 GPA3.0以上

オーストラリア
メルボルン大学
The University of Melbourne

指導言語 英語　学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月
語学要件 TOEFL iBT79(Writting21, Speaking18, Reading& Listening13以上), IELTS6.5(各6.0以上)　成績条件 GPA3.0以上

オーストラリア
オーストラリア国立大学
The Australian National University

指導言語 英語　学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月
語学要件 TOEFL iBT80(Reading, Writing20以上, Speaking, Listening18以上), IELTS6.5(各6.0以上)　成績条件 GPA3.0以上

派遣国 シンガポール
派遣大学 シンガポール国立大学
留学時期 2017年 8月～2018年 5月

優秀でユニークな人に囲まれ刺激を受けながら、自分を見つめなおす貴重な機会でした。

経済学部
学部3年（留学開始時）
栗原 滉平さん

自分の力を試すべくアジアNo.1大学へ

私の留学の目的は主に、①自分の力試しと成長のためにレベルの高い環境に身を置くこと②ビジネスの勉強③中国語の習得、の3つでした。以上を踏まえて、中国語圏であり金融・ビジネスの中心地でもあるシンガポールという国、そして世界中から優秀な学生が集まるアジアトップの総合大学、シンガポール国立大学を選びました。

留学の経験と学び

留学中は力不足を痛感する日々の連続でした。「自分の力＝どれだけ価値を生み出せるか」ととらえて生活をしましたが、語学力にハンディキャップがありながら自分より優秀な人の中で価値を出すことは簡単ではありませんでした。そこで自分にとことん向き合い試行錯誤することを繰り返しました。その結果、知識や思考の面で他学生に及ばなくても、自己理解を深めるにつれ、次第に自分なりの強みや個性を生かした価値創造ができるようになりました。

また、他大学から来た日本人学生たちは、留学生活を送るうえで非常に大きな存在でした。出身も年齢も専攻も異なる学生たちと話し、さまざまな価値観やバックグラウンドに触れることは刺激的でした。彼（彼女）らは優秀で個性的な人ばかりで、仲間であると同時に、追いつき追い越したいと思うライバルのような存在でもありました。その存在は、留学中の生活を送るうえで大きなモチベーションでした。

授業は、School of Computing 開講のビジネス関連科目でデータサイエンスを中心に受講しました。理系学部の開講ということもあり、内容は数学（統計学）やプログラミングが中心でした。当時の私にとってビジネスをデータドリブンで数学的なアプローチで考えることは新鮮で、プログラミングも文系の私にはなじみないものでしたが、実践的な授業を通じて学んだことで一層面白く感じました。留学をきっかけにこの分野に興味をもち始め、帰国後も継続して勉強しています。

留学を経ての心境の変化と進路の決定

留学は自分の将来を考える機会でもありました。留学中のさまざまな人と出会い、力不足を感じた経験から、より成長したいという気持ちと専門性をもちたいという気持ちが強くなりました。さらに、より学びたいと思う分野を見つけられたこともあり、データサイエンスを専攻に大学院に進学することを決めました。

▶ 滞在先について

大学までキャンパスバスで5分の距離にある留学生向けの寮に住んでいました。部屋は個室でしたが、風呂やトイレ、キッチン、ソファーがあるコモンスペースを3人のルームメイト（前・後期で5ヶ国から6名）と共有しました。共有スペースは広く、ルームメイトや友人を呼んだりして団らんできました。また、寮敷地内には学食・ジム・プール・24時間営業のコンビニ・スタバ等があり、とても快適で便利な過ごしやすい寮でした。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠		起床	登校	授業		昼食	休憩	授業				自由時間		夕食	予習等の自主学習			自由時間	就寝

派遣国 スウェーデン
派遣大学 スウェーデン王立工科大学
留学時期 2017年 8月～2018年 6月

北欧の自然に囲まれながら、「知る」ことの楽しさを知りました。

工学部
学部3年（留学開始時）
和田 朱音さん

宇宙工学分野で国際的に活躍するために

小惑星探査機はやぶさが、度重なるアクシデントを乗り越えて地球に帰還したのは、私が中学2年生の時でした。この歴史的なイベントを通してすっかり宇宙に魅了された私は、将来宇宙工学分野で国際的に活躍したいという夢を抱き続けてきました。スウェーデン王立工科大学（KTH）では元宇宙飛行士の教授が教鞭をとっており、国際宇宙ステーション滞在経験を踏まえたレクチャーを通して、宇宙開発について深く学ぶことができます。授業で幅広い専門知識を得るとともに、同じ志を持つ学生と交流することで夢の実現への第一歩を踏み出したい、との思いからKTHへの留学を決意しました。

主体性が身につく授業

KTHでの授業の大きな特徴として、プロジェクトワークが挙げられます。東北大では座学が多く、受け身な姿勢で授業に臨んでしまっていましたが、KTHでは学生の主体性が強く求められます。例えば、有人宇宙開発に関する授業では、月周回軌道に建設が提案されている有人宇宙ステーションを一からデザインするというプロジェクトワークを行いました。進行等は全て学生に委ねられており、学生間で意見を出し合いながらプロジェクトを進めていきました。同じグループの友人と夜まで作業に明け暮れたり、宇宙のことや自分の将来について夢中になって語り合ったりしたことは、忘れられない思い出です。

留学を通して視野が広がり、「知る」ことの楽しさを知った

KTHが位置するスウェーデンのストックホルムは、水と自然に囲まれた美しい街です。都会でありながらも落ち着いた雰囲気で、勉学に打ち込むのに最適な環境でした。授業や大学内外のイベントを通して、世界各国の学生と出会いましたが、Fika（コーヒーを片手に談笑する、スウェーデン特有の文化）をしながら自国の文化・慣習について話したり、政治や国際問題について真剣な議論を交わしたりする機会を多く得たことで、「世界には自分が知らないことが沢山ある」ということに気づきました。それと同時に、常に広い視野で物事を捉える習慣が身につき、知ること・学ぶことの楽しさを実感することができました。沢山の友人に囲まれ、日々新しい気づきを得ながら過ごした10ヶ月間の留学生活は、私の一生の宝物です。

▶ 滞在先について

私が住んでいた寮は、大学から地下鉄で40分程の場所にあり、Studioという一人暮らしのタイプのものでした。キッチンとバスルームは部屋の中にありましたが、洗濯機は共用で事前予約制でした。ルームメイトがおらず、異文化交流の機会がなかったのは残念でしたが、帰宅後も自分のペースで勉強に集中できるというメリットもありました。同じ寮に住む留学生とは頻繁に夕食をともにし、楽しい時間を過ごすことができました.

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床 朝食	登校		授業				昼食		授業				図書館		下校	友人と夕食		宿題・予習復習 洗濯・お風呂		就寝

Cooperative Laboratory Study Program Outbound

COLABS（自然科学系短期共同研究留学生交流）プログラム

COLABSプログラムの特徴は、派遣先大学の指導教員の指導のもと、自身のテーマに沿った研究活動を中心とした留学ができることです。海外での学術経験を積むことができるだけでなく、海外の研究者との人的ネットワークを築くチャンスとなります。本プログラムによる研究成果をもとに、海外の一流の学術誌に論文を掲載された学生もいます。その一方で、東北大学の指導教員を交えて、自身で留学計画を策定し、留学希望大学の指導教員から受入許可を得る必要があり、強い主体性が求められます。

参加対象

①自然科学系研究科の大学院生
②自然科学系研究科に進学見込みの学部4年生
③6年生課程の5年生以上（ただし、特別プログラムは4年生以上）

自然科学系研究科	理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科

奨学金情報　成績優秀者に月額6～10万円の奨学金を支給予定（▶P37 JASSO奨学金）

セメスター型

1学期から1年間の研究中心型留学プログラム

COLABSセメスター型には大学間、部局間協定機関に対して「交換留学生」の身分で留学する方法と、大学間、部局間協定機関、又はそれ以外の機関に「交換留学生」以外の身分で留学する方法があります。「交換留学生」の場合は、学内選考を経たうえで留学先大学の定める期限までに所定の方法で申請をする必要があり、語学要件等が設定されている場合はそれを満たす必要があります。ただ、「交換留学生」として在籍することにより、長期間滞在のためのビザ取得のサポートや、授業料免除、学生寮の紹介等を受けることができます（一部例外あり）。「交換留学生」以外の場合は、留学先での在籍身分の有無や、その種類、（何らかの在籍身分が存在した場合）それを得るための申請方法・期限等の確認及び「交換留学生」の身分であれば一定の保証がなされるビザ取得のサポートや、授業料免除、学生寮紹介の有無等についてもすべて自身で確認のうえ、手続きを行う必要があります。

派遣地域・大学　**大学間協定機関又は部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関**

期　間　**1学期相当～1年以内**

集中型・ワークショップ型

3ヶ月以内の研究中心型留学プログラム

COLABS集中型・ワークショップ型の特徴は、留学先大学での在籍身分について、自身が、派遣先大学の指導教員に確認する必要があることです。滞在期間の短さから、在籍身分を得る必要がないことも多いですが、留学先での活動形態や、各国・大学・研究室ごとにより事情は異なります。

集中型

派遣先機関の研究者の指導のもと、研究活動に従事します。

ワークショップ型

派遣先機関等で開催されるワークショップや研究会への参加だけでなく、
研究活動やフィールドワーク等の調査を行うこともできます。

派遣地域・大学　**大学間協定機関又は部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関**

期　間　**【　集　中　型　】32日以上～3ヶ月以内**
【ワークショップ型】10日以上～31日以内

COLABSプログラム体験レポート

研究、交流、ワークショップ、非常に濃密な1ヶ月でした！

環境科学研究科
博士前期課程1年（留学開始時）
渡邊　亮さん

派遣国　オーストラリア
派遣大学　メルボルン大学
留学時期　2018年11月

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠		朝食・身支度		研究（実験）			昼食・語学プログラム		研究（実験、データ整理）			夕食	カフェ・図書館で勉強			自由時間			就寝

快適な街メルボルンでの研究生活

「オーストラリアで実験してみない？」指導教員からの提案によってチャンスは突然に舞い込み、私は一も二もなく飛びつきました。私の研究室では、粉体プロセス解析のための新たなコンピュータシミュレーション手法を開発しており、その妥当性を確認するために実験データを取得する必要がありました。そこで、粉体プロセス・レオロジーに詳しいメルボルン大学の先生にご指導をいただき、私は実験データの取得に臨みました。当初は30日間という短期間で成果を得られるのか、不安もありました。しかし、受け入れ先の先生や現地の学生による手厚いサポートによって、初めて扱う実験器具にも慣れ、無事研究を進めることができました。

留学第2週目にはメルボルン大学と東北大学の共同ワークショップに参加し、ポスターセッションにて研究発表を行いました。普段は関わりの少ない異分野の研究者とも交流することができ、今まで意識したことのない視点からも自身の研究を見つめなおす絶好の機会になりました。

メルボルンは毎年「世界の住みやすい都市」上位にランクインするほど安全・便利・快適な街で、中心部には、歴史あるビクトリア州立図書館があります。放課後はトラムで図書館に移動して勉強したり、周辺のカフェや観光スポットを巡ったりもしました。

短期間ではありましたが、海外の先生と議論しながら研究を進められたこと、ワークショップで多くの研究者と意見交換ができたことで確かな自信が得られ、今後の目標にもつながりました。さまざまな不安を抱えながらも慣れない環境に飛び込んでみた甲斐があったと、心からそう思います。

日本人としての自分を深く、多角的に見つめ直すことができたこの期間を、一概に言い表すことはできません。

工学研究科
博士前期課程1年（留学開始時）
谷越　楓さん

派遣国　ベルギー
派遣大学　ブリュッセル自由大学
留学時期　2018年9月～2019年8月

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠			起床・登校準備		研究			昼食		研究				下校・夕食			自由時間		就寝

カルチャーショックを感じないほどの別世界で、一人、生活を築くということ。

留学に応募した目的はもちろん建築をより深く学びたい、日本ではできない経験をしたいという思いからでした。しかし結論からいうと、毎日同じ景色、同じ人に囲まれて安定していた大学生活の中で、気づかぬ間に失われていた自信や熱意を取り戻すことができたということが、この留学における一番の成果だったと感じています。

私の研究分野は建築デザインであるため、歴史あるヨーロッパで実際に学ぶことができたのは大変貴重な機会でした。日本人とは違う表現感覚を持つ人々に囲まれることは刺激的で、設計手法はもちろんプレゼンの仕方や模型の作り方、教授との距離感等日本とは全く違う環境での生活は確実に私自身の考え方に影響を与えました。ただ、勉学を通じて成果を得ることは留学の前提であり、それ以上に生活の面で得られた新たな価値観にこそ留学の醍醐味があるように思います。

私は自分で家探しをし、女の子8人でシェアハウスをしていました。学校の友達も含めてみんな仲が良く、締め切り間近で切羽詰まっているとクッキーを焼いて持ってきてくれたり、夜みんなで街に繰り出したり、晴れた日には公園や家のバルコニーでピクニックしたりと家族のように生活していました。このような日本とは全く違う価値観の生活は、どちらがいいとか悪いとかではなく、まるで別世界にいるような感覚にしてくれました。つまりカルチャーショックを感じず、別視点から自分のこれまでとこれからの生活を見つめる時間になったということです。日本にいるだけでは絶対に見ることのできなかった新たな一面がそこにはあり、自信が得られたとともに、良くも悪くも単調になっていた生活から抜け出してチャレンジする勇気を与えてくれました。

Double Degree Program

ダブルディグリー（共同教育）プログラム

東北大学と提携校の二つの修士レベルの学位取得を目指すプログラム

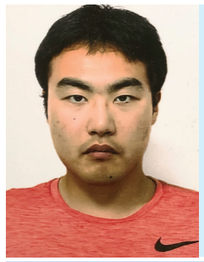
本プログラムの提携校はいずれも世界各国からエリートを集めて高度な教育を実施している高等教育機関です。将来世界を舞台に活動するために必要となる実質的な専門知識、研究能力、国際性、異文化対応力の養成が期待できます。ダブルディグリープログラムを成功させるには、まず、応募時から博士前期課程修了までを対象期間とした、授業履修・研究計画（学位論文との関連性を含む）を、東北大学での指導教員とよく相談しつつ構想することが肝要です。その上で、構想した授業履修・研究計画の達成に資する留学先大学・受入指導教員（研究室）を決定します。留学希望者、東北大学での指導教員、留学先大学での指導教員の3者において、構想した授業履修・研究計画の中でのダブルディグリープログラム参加の位置づけを明確にし、留学先大学での具体的な授業履修・研究計画を考案しましょう。その際は、留学先大学の英語での開講科目の数や、論文作成～審査～発表のスケジュール、両校間での単位互換の可能性等（これらは留学先大学や、受入指導教員の所属する研究科等により個別に定められているものです）について、よく確認しておくことが大切です。国立中央理工科学校とのダブルディグリープログラムでは、学部3年次の途中から渡仏し、国立中央理工科学校における5年間のプログラムのうち1年次及び2年次を履修します。帰国後は、本学学部4年次及び博士前期の課程2年を経て両校の学位を取得します。なお、国立中央理工科学校パリ校については、博士前期課程1年次に渡仏するプログラムもあります。国立応用科学院リヨン校、及びスウェーデン王立工科大学とのダブルディグリープログラムでは、本学の博士前期課程に進学後に留学し、提携校で授業履修や研究を行います。帰国後は、本学博士前期課程修了に必要な研究等を行った後、両校の学位を取得します。

奨学金情報　東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞等への応募が可能（▶ P37）

派遣地域・大学	フランス・国立中央理工科学校（Ecole Centrale）5校 国立応用科学院リヨン校（INSA Lyon） スウェーデン・スウェーデン王立工科大学
期間	1年半程度
参加対象	一部の自然科学系博士前期課程に進学見込み又は進学が決定している学部生 （派遣先により派遣時期、対象学部・学科・専攻、応募要件等が異なる）

ダブルディグリープログラム体験レポート

異なる環境下での生活で新たな価値観を得ることができました。



理学部
学部3年（留学開始時）
堀内　信吾さん

派遣国　フランス
派遣大学　国立中央理工科学校マルセイユ校
留学時期　2018年8月～
（2020年2月現在留学中）

▶ 滞在先について

キャンパス内にある学生寮に住んでいます。寮とは言っても日本での一人暮らし用アパートのようなもので各部屋にシャワー、トイレ、WIFIが備え付けられています。家賃は1ヶ月450€程ですが、通常CAFと呼ばれる住宅補助金がフランス政府から支給されるので半額ほどになります。

マルセイユでの生活

歴史的に古くから港町であったマルセイユはアフリカ、中東を始め多種多様な文化が入り混じっており、フランスの中でも異質で独特な雰囲気を醸し出しています。また移民、難民の数が多く治安の悪化、顕著な貧富の差の拡大と言った日本では顕在化することが少ない問題を抱えていることも事実です。実際、マルセイユでは少し歩けば幼子を連れたホームレスや物乞いを多く目にし、街頭にゴミが散在しています。お世辞にも綺麗な街とは言えません。しかし、こういった環境下で生活することで治安、貧困と言った普段は気にも留めず目を背けている社会問題に対して社会に生きる者として何かしらの責任を負わされている気になり、普段は考えもしない現実を突きつけられることになります。現在は閉鎖的である日本社会も近い将来直面する移民、難民問題について、社会の一員として如何なる態度をとるべきかという問いに対して、このマルセイユでの経験は答えを出すのに役立つと思われます。

異質な教育制度

現在の留学先は国立中央理工科学校（Ecole Centrale）というグランゼコールと呼ばれるフランスのジェネラリスト養成機関で、大きな特徴は大学とは異なり、研究より教育、企業間との共同プロジェクトに重きを置いていることです。ジェネラリスト養成と言うことで専門だけでなく理系科目はもとよりマネージメント、人文科学の講義を必修として課されます。更に、2年間の過程で少なくとも2回最低2ヶ月のインターンシップを研究所または企業でしなければなりません。研究、専門に特化した東北大学のカリキュラムとは全く異なる教育制度に浸ることには、専門を学ぶ機会が少ないことから発せられる抵抗感は確かにありますが、その代償として今まで知り得なかった知識や経験を得ることができます。実際1年目の企業インターンで2ヶ月間働いたフランスはボルドー郊外の養蜂農家での経験により、環境問題に関する考え方が大きく変わりました。1年間、日本よりも社会性が重視される教育機関で過ごすことにより、学生という身分はモラトリアム期間ではなく、社会と深く連関していると認識を新たにしました。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・登校準備	授業				昼食	授業					異文化交流	勉強			読書		自由	就寝

［各大学の募集時期と応募条件（予定）］

国立中央理工科学校　フランス

対象研究科	理学、工学、情報科学、環境科学	応募時期	学部（理、工）2年次の10月～12月 学部（理、工）4年次の10月～12月（パリ校のみ）
語学要件	授業履修・研究を行うのに十分なフランス語力及び英語力	派遣時期	学部3年次の8月頃 博士前期課程1年次の8月頃（パリ校のみ）

国立応用科学院リヨン校　フランス

対象研究科	理学、工学、情報科学、環境科学	応募時期	学部（理、工）4年次の10月～12月
語学要件	TCF 350	派遣時期	博士前期課程1年次の8月頃

スウェーデン王立工科大学　スウェーデン

対象研究科	工学、農学、情報科学、環境科学	応募時期	学部（工、農）4年次の10月～12月
語学要件	授業履修・研究を行うのに十分な英語力 （TOEFL ITP550, TOEFL iBT79, IELTS6.0（各5.0）以上）	派遣時期	博士前期課程1年次の8月頃

学部・研究科主催のプログラム

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科が独自に留学プログラムを実施している場合があります。

経済学部・経済学研究科

研究・課題解決型海外短期派遣プログラム

対象者	経済学部・経済学研究科の学生
募集人数	20名程度
派遣先	部局間協定校
派遣時期	春季 2～3月　約2週間
単位	経済学部専門科目(2単位)
問合せ先	経済学部・経済学研究科 国際交流支援室 (▶P38)

医学部

基礎医学修練

対象者	医学部医学科 3年生
募集人数	20～30名程度
派遣先	海外の大学・医学研究機関
派遣時期	8～1月頃(配属期間は年度により異なることがある)
単位	医学部専門教育科目「基礎医学修練」(10単位)
問合せ先	医学部医学系研究科 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉ med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

高次臨床修練

対象者	医学部医学科 6年生
募集人数	20～30名程度
派遣先	海外の病院
派遣時期	3～9月頃(配属期間は年度により異なることがある)
単位	医学部専門教育科目「高次臨床修練」(10単位)
問合せ先	医学部医学系研究科 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉ med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

工学部・工学研究科

学生国際工学研修

対象者	工学部・工学研究科の学生
募集人数	15名程度
派遣先	海外の学術交流協定校等(年により異なる)
派遣時期	2月下旬頃(1週間程度)
単位	工学部専門教科科目「国際工学研修」※申請による
問合せ先	工学部・工学研究科 国際交流室 (▶P38)

※ここに紹介するプログラムはあくまで一例であり、実施の有無及び内容は変更となる可能性があります。
※プログラム内容や応募方法等の詳細は、各担当係に直接確認してください。

留学のための各種サポート／留学相談・情報収集

全学生対象のサポート

★…留学相談　●…説明会等　◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶P38

★留学アドバイジング　要予約

グローバルラーニングセンターが主催する各種プログラムや海外留学全般に関するさまざまな疑問に、国際経験豊かなグローバルラーニングセンター教員がお答えします。
留学に興味はあるけれど不安がある場合や、海外留学プログラムや留学に関する最新情報を得たい場合等、お気軽にご連絡ください。

実施日　週5日 ※曜日ごとに担当教員が異なる
予約方法　希望日の3日前(土日を除く)までにメール送信(詳細はHP参照)
場所　川内北キャンパス　教育・学生総合支援センター西棟3階 各教員室

曜日	時間帯	アドバイザー	主な担当	メールアドレス
月	12:00～14:00	末松　和子	北米地域	kazuko.suematsu.a3@tohoku.ac.jp
火	11:00～13:00	髙橋　美能	欧州地域	mino.takahashi.c3@tohoku.ac.jp
水	11:00～13:00	坂本　友香	北欧地域	yuka.sakamoto.a3@tohoku.ac.jp
木	11:00～13:00	渡部　由紀	アジア・オセアニア地域	yuki.watabe.c6@tohoku.ac.jp
金	12:00～14:00	粕壁　善隆	COLABS	yoshitaka.kasukabe.c3@tohoku.ac.jp

アドバイザーからのメッセージ

北米地域担当　末松　和子

アメリカの広大なキャンパスで、最先端の教育・研究に触れ、活発なキャンパスライフを送りたい人におすすめです。世界共通言語の英語の習得はもちろん、さまざまな文化背景を持つ人たちと切磋琢磨することで、多様な価値観とコミュニケーション力を身につけることができます。将来、グローバル社会で活躍したい人、英語を使って仕事をしたい人、北米留学を検討してみてください。なお、東北大学の北米協定校の多くが、TOEFL iBTやIELTSを語学要件にしているので、計画的に準備を進めてください。

欧州地域担当　髙橋　美能

欧州協定校の学部の授業は、現地の言語で開講される場合が多いですが、ドイツの大学のように、英語で開講される科目がある場合もあります。また、大学院では英語で研究を行うことができる大学も増えてきています。イギリスの大学へ留学を希望する場合は、IELTSの受験が必須となりますので注意してください。欧州の協定校への留学は、現地の言葉で学びたい人はもちろんのこと、ヨーロッパの国々を旅し、体験したい人、ヨーロッパの価値観を学びたい人におすすめです。

北欧地域担当　坂本　友香

東北大学は、フィンランドの4大学(アアルト大学、オウル大学、タンペレ大学、トゥルク大学)、スウェーデンの5大学(ウーメオ大学、ウプサラ大学、王立工科大学、ストックホルム大学、チャルマース工科大学)と協定を締結しています。北欧の大学の特徴は、英語開講科目が多いこと、ディスカッション、グループワークを通して学生が主体的に学ぶことです。北欧の協定校は、教育や福祉、工学等について英語で学びたい方、英語が標準的に通じる環境で留学生活を送りたい方におすすめです。

アジア・オセアニア地域担当　渡部　由紀

日本の若者の内向き志向が問題視されていますが、アジアで学び、働く日本の若者の数は近年増加傾向にあります。東北大学は巨大な世界の成長センターである中国・インド、ASEAN地域の発展をリードするシンガポール・タイ・インドネシア・ベトナム、日本の中小企業の進出が進むスリランカ、そして東アジアに位置し深い交流関係を築いてきた韓国・台湾・モンゴルに協定校があります。また、地理的にアジアと近く、さまざまな面で関係性の強いオーストラリアでは、世界大学ランキングトップ100の4大学と協定を結んでいます。21世紀はアジアの時代と言われています。躍動するアジアで、その国のトップ大学の学生とともに学ぶ留学を是非考えてみてください。

COLABS担当　粕壁　善隆

COLABS(自然科学系短期共同研究留学生交流)プログラムという研究中心プログラムをご存じですか。大学院進学が決まった学部生、大学院生が、研究スケジュールに合わせて研究派遣留学をすることができるプログラムです。COLABSに限らず、大学院国際共同教育での学位取得留学、自然科学系で研究中心の留学を考えている人、特に海外協定校の研究室でワールドクラスの研究者と共同研究し飛躍しようと考えている人は、是非、相談してください。

留学アドバイジング 体験レポート

留学前
経済学部 学部1年
瀬戸　敦さん

親身な相談で方針を明確に！

私は入学当初から交換留学で海外に行きたいとは思っていたのですが、正直なところ協定校の選択肢も多く一人ではなかなか決めかねる状況でした。そこでグローバルラーニングセンターでアドバイジングを受けたところ、それぞれの大学の特徴や実際のキャンパスの様子等も教えていただき、それを参考にして志望校を決めることができました。また、詳しく相談に乗っていただけたおかげで、自分の留学目的がより明確になり、現地でやりたいことも思いつくようになりました。親身になって相談に乗っていただけるので、留学について少しでも不安のある人はアドバイジングを利用してみるとよいと思います！

留学後
法学部 2019年度卒業
萩原 文博さん

自分にしかできない留学を！

留学を本格的に志した時、僕は漠然と英語圏、できれば北米を希望していました。そこで留学アドバイジングを利用したところ、英語圏ではなくても英語を使うこと、自分の強みを生かした留学をした方が有意義であることを聞きました。そして実際、その言葉通り留学先ではその両方の機会・環境に恵まれ、自分だけの留学ができたと思います。留学に漠然とした印象を抱いている方、一歩進んだ留学をしたい方には是非留学アドバイジングをおすすめします。

全学生対象のサポート

★…留学相談　●…説明会等　◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶P38

★GCS留学カウンセリング　要予約

交換留学等の留学経験を持つ現役学生、「グローバルキャンパスサポーター（GCS）」が、
実際の留学生活や申請方法、留学後の就職活動や進路等の質問・相談にお答えします。

予約方法　グローバルラーニングセンターHPで要確認　www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/
場　所　川内南キャンパス　図書館本館1号館2階グローバル学習室（青葉山キャンパスでの対応も可）

≪GCSメンバーから皆さんへ≫

グローバルキャンパスサポーター（GCS）は、短期海外研修・交換留学等の留学経験を持った学生が自らの留学経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生をサポートしています。GCS留学カウンセリングでは留学体験、書類作成、準備のコツ、進路等に関する相談を個別で受けており、リアルかつ留学する人目線で留学に関するさまざまな疑問にお答えしています。

その他、国際交流イベントやワークショップの開催、さらにはGCSメンバーが毎週投稿しているブログにて、留学先での生活の様子や留学に役立つ情報を盛り込んで発信しています。「留学に興味があるけれども、準備は大変だし不安は沢山ある」、「留学準備は何からしたらいいか分からない」という方は、まず私たちに相談をお寄せください。

皆さんの留学を有意義なものにするための準備を私たちがサポートしますので、お気軽にご活用ください！

●東北大学留学フェア　4月

4月中旬に海外留学や語学学習等に係る各種説明会を行い、本学の留学プログラム、語学学習サポートや奨学金情報等について体系的に周知するとともに、
各部局担当係、留学経験者と留学生とのネットワーキングの機会を提供します。

●交換留学説明会&交換留学帰国者報告会　5月、10月

東北大学と大学間学術交流協定を結んでいる海外の大学（協定校）への交換留学について、制度の概要や応募の方法、協定校の選び方、学内サポート等の情報を提供します。
また、世界中の協定校への交換留学から帰国した学生による報告会も同時に開催します。交換留学経験者の体験談を直接聞き、自身の参考にすることができます。

●SAP（スタディアブロードプログラム）・FL（ファカルティレッドプログラム）プログラム別説明会　4月、10月

夏（8・9月）及び春（2・3月）の参加者募集にあわせ、応募受付期間中に説明会を開催します。プログラムごとにブースを開設しますので、自由に質問したり、経験者のお話を聞いたりすることができます。

●SAP（スタディアブロードプログラム）・FL（ファカルティレッドプログラム）報告会　4月、10月

2020年2・3月に実施された、SAP8プログラム（アメリカ、カナダ、インドネシア、オーストラリア、イギリスにて実施）、FL3プログラム（ドイツ、スペイン、スイスにて実施）の参加者から下記の日程にて体験談を聞くことができます。ご興味のある方は、是非ご参加ください。

日　時　SAP：4月15日（水）、16日（木）　FL：4月15日（水）　各日18:30～20:30
場　所　グローバルラーニングセンターHPに掲載予定

●グローバルラーニングセンターで開催しているその他の説明会　随時

開催する説明会は毎年変更の可能性があります。開催情報は所属の教務係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自収集を行ってください。
どれも事前登録は不要ですので、留学に興味がある方は是非お気軽にご参加ください。
過去に実施した説明会の例としては本学の大学間協定校からゲストをお迎えし、大学の概要、学校生活についてお話をいただいたこともございます。
海外留学に興味のある方、外国人留学生と交流したい方等は積極的に情報収集のうえご参加ください。
www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/news/application/

各学部・研究科のサポート

★…留学相談　●…説明会等　◆…情報配信

国際交流オアシス ▶P38

◆HP・SNSでの情報配信

web.tohoku.ac.jp/international_oasis/　@OASISatTU　internationalOASIS@TU

文学部・文学研究科　文学部・文学研究科教務係 ☎022-795-6005　art-kyom@grp.tohoku.ac.jp

★留学カウンセリング　要予約

留学全般について知りたいことに教職員が答えています。また、カウンセリングを受けた方を対象に、
留学関係書類の添削（推薦状の下書きや志望動機書・研究計画書について、専門分野に立ち入らない範囲で、一般的な添削）を行います。

予約方法　メールタイトルを「留学相談」とし、下記項目を記入の上、文学部・文学研究科教務係宛てにメールで申し込み
①相談内容概略②氏名③学年④電話番号　※携帯メールは受信できない場合があります。

法学部・法学研究科　国際交流支援室 ▶P38

★留学相談　要予約

留学相談を受けつけています。　予約方法　メール送信

●留学報告会・交流会　不定期

留学から帰国した学生と留学希望の学生との情報交換等のために海外留学交流会を実施しています。
実際に留学を体験した学生から留学先での学修・生活等に関する話を聞くことができます。

◆メールでの情報発信

国際交流支援室からの留学関連の情報の発信と、留学を希望する学生の皆さん・現在留学中の方・留学から帰国した学生の皆さんの間での
情報の共有を目的としたメーリングリストを開設しています。

メール配信登録方法　メールタイトルを、「国際交流支援室ML参加希望」とし、下記項目を記入の上、国際交流支援室宛てにメールで申し込み
①氏名 ②学籍番号 ③配信を希望するメールアドレス

経済学部・経済学研究科　国際交流支援室（DIEE） ▶P38

★留学相談　要予約

留学経験者の報告書等を参考に、留学計画書を作成し、留学相談を行っています。　時　期　火・木・金曜日　予約方法　メール送信

●部局間留学説明会　春・秋

春季に1回、秋季に2回留学説明会を開催し、留学を奨励しています。

●研究・課題解決型海外短期派遣プログラム説明会　春・秋

大学間や部局間で行われる、短期派遣プログラムの説明会及び留学報告会を行っています。

理学部・理学研究科　国際交流推進室（DiRECT） ▶P38

★留学相談　予約不要

各種プログラム等による海外留学に関する情報提供・相談を行っています。

医学部・医学系研究科　学部教務係 ☎022-717-8009　med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

●海外留学報告会

医学科3年次対象の基礎医学修練（▶P29）、同6年次対象の高次臨床修練（▶P29）によりアメリカ、カナダ、フィリピン等に短期海外留学をした学生による英語での報告会を行っています。

工学部・工学研究科　国際交流室（IEED） ▶P38

★留学アドバイジング　要予約

留学や海外研修プログラムに関する相談を受けつけています。

予約方法　国際交流室HPオンライン予約フォームから申し込み

●工学部・工学研究科留学説明会　6月、11月

留学制度や手続き、大学の選び方、費用、単位互換等、幅広い情報を提供しています。留学体験者による留学生活・体験談の発表もあり、希望者は個別に話を聞くこともできます。

◆メール・Facebook情報配信

留学、国際交流イベント等に関する最新情報を配信しています。

メール配信登録方法　メールタイトルを「メーリングリスト加入希望」とし、下記項目を記入の上、工学研究科国際交流室宛てにメールで申し込み又は来室　①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス

TEA Tohoku University English Academy

東北大学ではより積極的に海外留学に挑戦し、グローバルに活躍できる人材を育成するため、TEA（Tohoku University English Academy）を設置しています。課外英語学習プログラム（TEA's English）や、英語学習アドバイジング、TOEFL ITP®、TOEFL iBT®等の英語能力試験の受験機会を提供しています。TEA's Englishでは、Speaking、Writing、Listening、Readingの4技能を向上させ、実践的な英語を身につけることを目的としたTEA's English学期内プログラムと、長期休業期間中に短期で集中的に英語を学習するTEA's English集中プログラムを開講しています。詳細は、グローバルラーニングセンターHPで確認してください。

TEA's English 体験レポート

文学部
学部1年（プログラム受講時）
冨田　理佳子さん

2019年前期学期内プログラム
2019年5月～7月

私は大学入学以前からスピーキングに苦手意識を持っていました。そこで、より英語を話せるようになりたいという思いから学期内プログラムを受講しました。授業の内容は、効果的なプレゼンテーションのスライド作りや発表方法、アカデミックライティング等多岐にわたります。授業では、基本的にグループ内でディスカッションをして意見交換をするため、常に自分の考えを自分の言葉で表現することが要求されます。受動的な学習を基本とする高校までの授業に対して、TEA's Englishでは能動的な英語学習が可能になると思います。

受講当初は授業についていけるかどうかが不安でしたが、授業の回数を重ねるたびに英語で話すことに自信が持てるようになりました。また、講師の先生は積極的に話しかけてくださったり、私が疑問点を理解するまで根気強く教えてくださったりと全力でサポートしてくださいました。実践的な英語力を身につけたいというすべての方にTEA's Englishをおすすめします。

文学研究科
博士前期課程1年
（プログラム受講時）
保泉　空さん

2019年夏季集中プログラム（TOEFL iBT対策講座）
2019年9月

大学生を説明するときの決まり文句「時間はあるけど、お金がない」は、最近の事情に照らし合わせれば「時間もないし、お金もない」ではないでしょうか。授業やバイト、サークル、そして就活と大学生にはやらなければならないことが多すぎます。その中に「英語」が入り込む余地などあるのでしょうか。日々忙しく過ぎる日常の中で、「英語」はいつの間にかTo Doリストから消えてゆきます。そんな大学生の一人であった私は、TEA's Englishのチラシを見つけたとき、一も二もなく申し込みました。授業のない夏休みは、時間がとれる絶好の機会。さらに10日間集中なので無駄な時間が一切なく、集中して取り組めます。TOEFLに特化したプログラムでは、明確な目標設定のもと具体的な得点アップのスキルを学べました。受講後に受けたTOEFLではスコアが15点アップし、成果を実感できました。そして何よりも、TEA's Englishで英語を学ぶ機会を作れたことが英語力向上につながったと思います。

TOEFL®テスト

TOEFLスコアは、各種海外留学プログラムや語学学習講座等に応募する際に必要となる場合があります。
これらの参加を検討している方は是非早めに受験してください。

TOEFL ITP®テスト

1 全学生対象有料受験

対象者　全学生（非正規生を含む）　　受験料　3,730円
申込方法　グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録
実施予定日　年4回：5月19日（火）、8月18日（火）、10月7日（水）、1月12日（火）

2 学部新入学生全員対象の無料受験

対象者　学部新入学生全員　　受験料　無料（大学負担）
実施予定日　4月18日（土）　　申込方法　入学後に掲示等で案内があります

3 英語授業の一環としての無料受験

対象者　全学教育科目「英語B2(-1/2)」受講者全員　　受験料　無料（大学負担）
実施予定日　11月28日（土）　　申込方法　掲示及び授業内で案内があります

TOEFL iBT®テスト

対象者　全学生（非正規生を除く）　　受験料　235USドル（2020年2月現在）※予告なく変更となる場合あり
実施予定日　年3回：5月16日（土）、7月4日（土）、9月26日（土）　申込方法　オンライン登録のうえ受験料納入（クレジットカードのみ）

※TOEFL、TOEFL ITP、TOEFL iBT 及び TOEICはエデュケーショナル テスティング サービス（ETS）の登録商標です。

グローバルラーニングセンター

☎022-795-7820　sab_query@grp.tohoku.ac.jp　www.insc.tohoku.ac.jp ▶P38

TEA英語学習アドバイジング　要申込

英語力を伸ばすための学習方法アドバイスをELSの講師から個別に受けることができます。詳細はグローバルラーニングセンターHPをご覧ください。
ELS…1961年から北米を中心に多数の学校を運営する実績を持ち、世界中の留学生に多彩なプログラムを提供している語学学校

Global Café　申込不要

外国人留学生が先生となって教える語学と文化のミニ講座（英語・タイ語・インドネシア語・ドイツ語・中国語等の言語で実施）

開講　グローバルラーニングセンターHPで要確認

国際交流オアシス　▶P38

ランチイベント　申込不要

毎週月～金曜日お昼の時間に、留学生による文化紹介やTOEFL対策講座、文化イベント、ピクニック等さまざまな活動を行います。
毎月の情報は、国際交流オアシスのHPでご確認ください。

開講　前期：4月～7月、後期：10月～2月

経済学部・経済学研究科　国際交流支援室（DIEE）▶P38

HIRUDESUYO　申込不要

毎週月～金曜日のお昼に開催。異文化交流の場として、毎週テーマを決め（例：留学生の母国紹介、日本文化体験、日本語でおしゃべり）お昼を食べながら、交流を行います。

開講　前期：4月～7月、後期：10月～2月　　対象　全学生　　場所　国際交流オアシス（▶P.38）

Global Hour　要問合

毎週木曜日15時-16時、国際交流や英語のスキルアップを中心とした催事を行います。

開講　前期：4月～7月、後期：10月～3月

工学部・工学研究科　国際交流室（IEED）▶P38

English Communication　要申込

英会話、英語でのコミュニケーションにおいて重要な会話の始め方や終わり方、相槌、意見の述べ方等、さまざまな状況下で役立つネイティブ表現、発音矯正を含めたブラッシュアップを目指します。継続して出席することで着実に英語を使うことへの自信が養われます。

開講　前期：4月～7月、後期：10月～1月　　対象　全学生（自然科学系の学生優先）
申込方法　国際交流室HPオンライン申請フォームから申込

農学部・農学研究科　教務係 ☎022-757-4007　agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp

Agriculture TGL Panch　申込不要

学生が外国人留学生とともに昼休みの時間を利用して、ネイティブ講師の指導のもとで、積極的な英語のみによるコミュニケーションの中で多様な話題を通して、外国人との関係を築く能力を身につける週1回のイベント

開講　前期：4月～7月（予定）、後期：10月～1月（予定）　※開催時期の詳細は、掲示板等にて4月以降にお知らせ

学習支援センター　☎022-795-3374　sla-support@grp.tohoku.ac.jp　sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp

SLA de 英会話 ～「英会話カフェ」&「1on1英会話」～　予約不要

留学生・日本人の学生アドバイザーであるSLA（Student Learning Adviser）が、気軽に英語に親しむことができる機会を提供しています。
●英会話カフェ…複数人で英会話を楽しむタイプの会で、SLAが会をコーディネート
●1on1英会話…マンツーマンで、利用者のニーズに応じた英会話

開講　授業期間中毎日（時間は学期ごとに異なる）　　対象　全学生　　参加費　無料
場所　川内北キャンパス　マルチメディア教育研究棟1階 SLAラウンジ

海外からの学生との交流

100の国と地域から約2,450名の外国人留学生が学ぶキャンパス

海外から多くの研究者や学生を受け入れている東北大学には、海外に行かずとも多文化を体験できる機会があふれています。学内で開催されるさまざまな国際交流行事を通し、外国人留学生等と交流を深めることができます。

グローバルラーニングセンター ▶P38

Tohoku University Immersing Program（TUIP）ボランティア
TUIP:2020年4月27日～5月22日

Tohoku University Japanese Program（TUJP）ボランティア
TUJP第1期:2020年5月27日～6月23日
TUJP第2期:2020年7月1日～14日

Tohoku University STEM Summer Program（TSSP）ボランティア
TSSP:2020年6月15日～7月10日

海外の協定校の学部生が参加するサマープログラムにおける、文化交流、地域社会との連携活動

募集 4月～5月頃　窓口 ☎022-795-3745　tujp@grp.tohoku.ac.jp

国際交流オアシス ▶P38

留学生との交流　平日の昼休み（12～13時）
毎週月～金曜日お昼の時間に交流イベントを実施中。誰でも参加できます！

法学部・法学研究科　国際交流支援室 ▶P38

外国人留学生との交流会　不定期
大学院生を対象とした、外国人留学生との交流会。大学院レベルでの研究等に関する意見や情報の交換をすることができます。

経済学部・経済学研究科　国際交流支援室（DIEE） ▶P38

国際交流イベント　フィールドトリップ：秋（年1回）　交流会：随時
外国人留学生との国際交流推進イベントと文化体験活動

留学生相談デスク　毎週火・木曜日（12時～14時まで）
学業や人間関係、異文化適応等留学のさまざまな相談に応じています。

理学部・理学研究科　国際交流推進室（DiRECT） ▶P38

留学生サポーター　9月中旬～下旬
10月に英語プログラムに入学する外国人留学生の受け入れ支援

歯学部・歯学研究科　歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携推進部門 ▶P38

留学生懇談会　10月上旬
歯学部・歯学研究科で学ぶ世界各国からの外国人留学生が中心となって企画する学生、教職員等との懇談会

短期受入留学プログラム　適宜
海外の協定校から学生を招いて長期休業期間中に実施するショートプログラム（1～8週間程度）の運営補助等

被災地実地研修プログラム　不定期
歯学部・歯学研究科の外国人留学生及び日本人学生を対象とした東日本大震災被災地での実地研修

工学部・工学研究科　国際交流室（IEED） ▶P38

Tohoku University Engineering Summer Program（TESP）　7月下旬～8月上旬
海外の交流校から学生を招き、2週間のサマープログラムを開催しています。ホスト学生として携わることで参加学生をサポートするとともに、文化体験やフィールドトリップに一緒に参加することができます。詳細は6月頃に工学研究科国際交流室HP及びFacebookで発表します。

申込方法 国際交流室HPオンライン申請フォームから申し込み

国際交流イベント　不定期
餃子パーティー、手巻き寿司パーティー等、一緒に作りながら飲食することで留学生と日本人学生の交流が深まる機会です。英語で作り方を説明したり、留学生に日本語を教えたりと、手を動かしながらの協働でネットワークが広がります。
参加費 500円前後

農学部・農学研究科　教務係 ☎022-757-4007　agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp

留学生交流会　不定期（年複数回）
外国人留学生の企画による芋煮会、文化交流教養セミナー等の各種イベントを通じて、外国人留学生同士や日本人学生との交流を促進

Friends for Lunch　平日の昼休み（12～13時）
※開催時期の詳細は、掲示板等にて4月以降にお知らせ
毎日昼休みの時間帯に、Agriculture TGL Panchと同じ会場に外国人留学生と日本人学生が昼食を持って集まり、カジュアルな英会話による交流を楽しむランチタイム

国際文化研究科　教務係 ☎022-795-7556　int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp　www.intcul.tohoku.ac.jp

国際文化研究科国際交流の集い　秋～冬頃
国際交流への理解を深め、国際文化研究科内の交流を促進するための、外国人留学生、日本人学生・教員・職員の交流会

募集 適宜（実施日の1ヶ月前頃）

東北大学生による国際交流活動団体

学生が中心となって活動する語学や国際交流に特化した活動団体

グローバルキャンパスサポーター（GCS）

団体概要 交換留学等の留学経験を持ち、留学先で得た経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生を支援する学生サポーターです。グローバルラーニングセンターと協働し、学生の視点でさまざまな留学支援活動・国際交流イベントを実施しています。

活動内容 GCS留学カウンセリング（▶P31）、留学希望者・経験者との座談会、留学説明会等イベントにおける体験談発表・運営補助等

www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/　twitter.com/gcs2016tohoku

オアシス・アンバサダー（国際交流オアシス学生アンバサダー）

団体概要 国際交流オアシスで主体的に国際交流活動を行う学生チームです。国際交流オアシスの教職員と協働で学生視点のさまざまなイベントの企画、運営を行います。

活動内容 国際交流オアシスのイベント補助、イベントの企画・運営、新入生オリエンテーション等での国際交流オアシスの紹介 等

oasis.office@grp.tohoku.ac.jp　web.tohoku.ac.jp/international_oasis/

留学生支援団体 IPLANET

団体概要 人文・社会科学短期留学生受入プログラム「IPLA」の学生の留学生活を支える学生団体です。イベント企画・運営に加え、外国人留学生に対する1年を通じての日常的なサポートが主な役割です。メンバーが主体となってゼロから企画を練り、活動を創り上げています。

活動内容 各種イベント（料理教室、日本文化体験、日帰り旅行、歓迎会、お別れ会等）及びGlobal Café（▶P.34）の運営
一対一で外国人留学生の学習や生活を援助（チューター）

tohoku.ipla@gmail.com　www.facebook.com/iplanet.tohoku/

理系国際交流団体 TUSTEM（Tohoku University STEM Student Network）

団体概要 TUSTEMは、特に理系の学部と大学院に在籍している国内学生と留学生の相互交流を目的に、2018年に設立された学生国際交流団体です。

活動内容 理系分野に関係した勉強会や交流会等を企画・提供するほか、東北大学の理系留学プログラム（COLABS, JYPE, TSSP）等の活動のサポート等

www.facebook.com/groups/185904755687310/　twitter.com/stemtohoku

TUFSA・東北大学留学生協会（Tohoku University Foreign Students Association）

団体概要 東北大学留学生協会とは、外国人留学生と日本人学生の交流を中心に活動する団体です。TUFSAは、1965年に設立され、2019年に結成54周年を迎えました。外国人留学生と日本人学生の架け橋となるために日々活動を行っています。多様な文化に触れ、さまざまな価値観を共有したい方を募集しています！

活動内容 留学生の勉学や生活面におけるサポート、学内の国際交流推進、市民活動への参加、毎月のニュースレターの配信、各種イベントの企画・運営（東北大学国際祭り※、新入生歓迎会、ダンスパーティー、バディプログラム、スポーツ大会、チャリティ活動等）
※東北大学国際祭り：一般市民の方々も参加する大きなイベントで、世界各国の伝統料理や伝統舞踊の紹介、異文化体験コーナー等さまざまな催しを実施しています。

tufsacontact@gmail.com　www.tufsa.net/　www.facebook.com/tufsafanpage　www.instagram.com/tufsa_official/

TUMCA ・東北大学イスラム文化協会（Tohoku University Muslim Cultural Association）

団体概要 イスラム文化交流と友好関係の構築を目的に設立された団体です。多様なバックグラウンドを持った学生との交流により、イスラム教以外にもさまざまな国の独自文化を学ぶことができます。東北大学内の礼拝場やハラルフード等に関しても相談できます。

活動内容 イスラム文化を持った留学生及び日本人学生との交流

muslim.tohokuuniv@gmail.com　www.facebook.com/TUMCA

留学生支援サークル @home

団体概要 留学生と日本人学生が交流することのできる架け橋となることを目指し、日々活動しています。多種多様なイベントの企画・運営を通して、留学生と交流しています。国際交流がしたい人、イベントを創りたい人、いろんな人が楽しめる団体です！

活動内容 外国人留学生と日本人が交流できるイベント「International Hour（IH）」の企画、留学生の日本での生活の手伝い、仙台市内の国際交流イベントへの運営参加等

athome.web.123@gmail.com　www.insc.tohoku.ac.jp/-athome　www.facebook.com/athome.tohoku/

ESA-net（東北大学交換留学生同窓会）

団体概要 交換留学生同窓会はより多くの東北大学生に交換留学を経験してもらうために、経験者による関連情報の発信を行うことを目的として発足した団体です。

活動内容 留学準備から留学中、帰国後のキャリア支援までに関する情報発信／留学経験者、留学をしようとしている人たちとの交流を目的としたイベントの実施／青葉山キャンパスを拠点とした留学相談等
Facebookにて留学情報を発信しています。「東北大学交換留学」で検索！

tohoku.exchange@gmail.com　www.facebook.com/tohoku.exchange

奨学金情報

東北大学の奨学金

東北大学基金 グローバル萩海外留学奨励賞

東北大学基金の事業として、グローバル社会で活躍できる人材の輩出及び教育の国際化の促進に資することを目的に設立された奨学金です。海外の大学間又は部局間学術交流協定校に原則、3ヶ月～1年の期間留学する学業成績優秀な学生を対象としています。また、所定のダブルディグリープログラムにより1年6ヶ月程度の留学をする学生も支給対象者となります。採用者には、準備金と奨励金（奨学金）が支給されます。

支援内容 準備金15万～30万円、奨学金月額6～10万円 ※留学先地域により異なる
募集時期 年2回：4月下旬～5月（7月～12月留学開始）、9月～10月中旬（翌年1月～6月留学開始）
応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
問合せ先 留学生課（▶P38）

国際共同学位取得支援制度（国際共同教育プログラム）

海外大学との大学院レベルにおける国際共同学位取得を奨励するための支援制度です。国際共同学位取得支援制度により留学する学生は、本学が世界の最先端を走る研究分野において、その分野における海外のトップレベル大学等との連携のもとに実施されるダブルディグリープログラム等に参加し、高い専門能力だけでなくグローバルマインドや幅広い視野を兼ね備えた人材となることが期待されています。採用者には、渡航費と奨学金が支給されます。

支援内容 海外渡航旅費（実費）、奨学金月額10～20万円 ※在籍課程・留学先地域により異なる
募集時期 年5回：留学開始時期による
応募方法 所属・研究科の担当係に必要書類を提出
問合せ先 留学生課（▶P38）

各部局の独自奨学金

海外留学をする学生を対象に、学部・研究科によっては独自の奨学金や支援金（旅費等）を支給する場合があります。 問合せ先 所属学部・研究科

政府・民間団体等の奨学金

日本学生支援機構 海外留学支援制度（JASSO奨学金）

交換留学の推進と国際性を有する人材の育成を目的として、日本学生支援機構（JASSO）が支給する奨学金です。採用者には、留学期間中毎月奨学金が支給されます。奨学金受給者数及び対象者は、対象プログラムごとに異なります。

支援内容 渡航支援金16万円（一定の家計基準を満たす場合） 月額6～10万円（留学先地域により異なる）
対象プログラム 交換留学、短期海外研修（SAP/FL）、COLABS、海外体験プログラム、一部の部局主催プログラム等
問合せ先 留学生課（▶P38）

※対象プログラムの参加者のうち、条件を満たす学生に支給するものであり、学生から申請できるものではありません。
※日本学生支援機構の貸与型奨学金「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」との併給が可能です。

各種奨学団体等による奨学金

民間の財団等が、海外留学予定者に支給する奨学金は、特定の留学形態（大学院正規留学、交換留学、インターンシップ等）、国、期間、出身地に限定されている場合があります。応募に大学の推薦が必要な場合があります。大学宛てに募集案内がある場合は、グローバルラーニングセンターHPにてお知らせします。

過去募集例
- 経団連グローバル人材育成スカラーシップ
- 業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生
- TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

大学宛に募集案内がない場合は、各自で情報収集及び応募が必要です。
以下サイト等を参照してください。
海外留学支援サイト ▶ 海外留学のための奨学金 ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

東北大学基金 グローバル萩海外留学奨励賞受賞学生によるレポート

初めての海外留学でしたが、グローバル萩の支援もあり、とても充実した日々を過ごすことができました。

経済学部
学部3年（留学開始時）
伊東　慧介さん

派遣国 アメリカ
派遣大学 カリフォルニア大学バークレー校
留学時期 2018年8月～2019年5月

バークレーで得たもの。

バークレーは、夏は涼しく、冬は暖かく、空気は乾燥しているので気候的にとても恵まれた環境です。また、世界でも5本の指に入る経済学、そして統計学の名門校です。私はそのような環境で、統計学や機械学習、経済学等を学びました。また、研究助手として研究に携わる等大変貴重な経験をすることができました。

留学の1番の魅力は、「出会い」だと思います。留学中に出会った友人や先生方とは、共同研究をしたり、推薦状を書いてもらったり、自分たちの人生について語り合ったり等し、一生の付き合いになると感じています。留学後も彼らに心理的、実用的サポートを受けながら、自分の夢に向かって努力しています。

留学を金銭的な面で諦めてしまう人は多いかもしれませんが、グローバル萩をはじめとする、併願できる給付型の奨学金はいくつか存在します。グローバルラーニングセンターや先輩、インターネット等を利用して、奨学金情報を集めてみてください。奨学金受給には学業成績が条件になることも多いので、周りに流されず、東北大学の授業も頑張ってください。

学内の国際交流・留学サポートオフィス

グローバルラーニングセンター・留学生課

川内北キャンパス

☎022-795-7820（交換留学他プログラム全般・語学学習及び語学試験関係）
☎022-795-4818（短期海外研修関係）
☎022-795-4817（TGL関係）
sab_query@grp.tohoku.ac.jp
www.insc.tohoku.ac.jp

法学部・法学研究科 国際交流支援室

川内南キャンパス 法学部棟3階

kokusai@law.tohoku.ac.jp
www.law.tohoku.ac.jp/global/support/

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室（DIEE）

川内南キャンパス 経済学研究科棟2階
☎022-795-7788
diee-keizai@grp.tohoku.ac.jp
www2.econ.tohoku.ac.jp/~KKS/index.html

理学部・理学研究科 国際交流推進室（DiRECT）

北青葉山キャンパス 理学研究科事務棟2階
☎022-795-5829
direct@mail.sci.tohoku.ac.jp
www.sci.tohoku.ac.jp/direct/

医学部・医学系研究科 国際交流支援室

星陵キャンパス 医学部1号館2階
☎022-718-5091
int-exchange@med.tohoku.ac.jp
www.med.tohoku.ac.jp

歯学部・歯学研究科 歯学イノベーション リエゾンセンター国際連携推進部門

星陵キャンパス 臨床研究棟1階
☎022-717-8278
international@dent.tohoku.ac.jp
www.dent.tohoku.ac.jp/field/liaison/03/index.html

工学部・工学研究科 国際交流室（IEED）

青葉山キャンパス 工学研究科中央棟2階
☎022-795-7996
ieed-eng@grp.tohoku.ac.jp
www.ied.eng.tohoku.ac.jp

情報科学研究科 国際交流推進室

青葉山キャンパス 情報科学研究科棟4階
☎022-795-4691
ilo@is.tohoku.ac.jp
www.is.tohoku.ac.jp/introduction/ilo/index.htm

国際交流オアシス

川内南キャンパス 文系総合講義棟1階
☎022-795-3270
oasis.office@grp.tohoku.ac.jp